

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（59）」

2. 日時：令和4年8月18日（木）13時30分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：野田上席安全審査官、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官※、大井安全審査専門職、松末技術参与、馬場係員

北陸電力株式会社：小田常務執行役員 他9名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について
敷地内断層の活動性評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 適合性審査コメントリスト
【敷地の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁のカイダです。時間になりましたので、北陸電力の志賀原子力発電所 2 号炉、
0:00:10	敷地の地質地質構造についての、
0:00:13	コメント会とヒアリングをしたいと思います。
0:00:17	事業者の方からですね、資料の確認で引き続いて資料の説明をお願いします。
0:00:28	はい。北陸電力の吉田です。
0:00:31	本日はよろしく願いいたします。
0:00:33	まず初めに資料の確認をさせていただきます。
0:00:37	資料は 2 件ございます。A4 横のコメント回答と書いた冊子が本資料となります。
0:00:44	その他本日の参考用としまして、これまでのコメントの一覧表をおつけしてございます。
0:00:51	それでは本資料に基づきまして説明させていただきます。
0:00:56	本資料の構成といたしましては、これまでの我々の資料と同様に、本文の前に、今回の説明の概要のページをお付けしてございます。
0:01:05	まず私の方から、この部分を説明した後に、引き続き本について詳細に説明させていただきます。
0:01:13	説明時間は 35 分程度を予定してございます。
0:01:19	それでは本資料、2 ページと 3 ページ、最初見開きで
0:01:25	ご覧ください。
0:01:26	本日の説明するご説明する内容でございます。
0:01:29	当社は本年 5 月の審査会合におきまして、敷地内断層に関する追加調査結果について説明を、
0:01:37	行いまして、以下三つのコメントを受けております。まず 1 点目、海岸部の断層、K2K18 などの鉱物脈法による評価。
0:01:48	二つ目、敷地の断層と活断層との破碎部性状の比較。
0:01:53	そして 3 点目計算の形成環境等を踏まえた評価と、
0:01:58	本日は、苦勞のコメントに該当するものでございます。
0:02:02	3 ページの方には、この三つのコメント回答に関する評価地点の位置を示しておりますが、
0:02:10	コメント回答をするに当たりまして、新たに追加したデータを、この枠中の中で、緑色の文字で書いてございます。
0:02:19	一番と 3 番の方に、枠内でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:22	それでは、各コメントへの回答の概要についてご説明をいたします。4ページの方をご覧ください。
0:02:31	これはまず、経営についてのコメントの回答でございます。
0:02:39	左上の水色の四角で記したものが、いただいたコメントとなります。
0:02:46	その下の薄片写真で黄色の楕円で囲った範囲、ここを見ていただきたいんですが、最終の1の延長上に医療境界があり、鉤物脈の横断する状況がわかりづらいと。
0:02:59	いったコメントをいただいております。このコメントを受けまして、我々といたしまして、既存の薄片を用いて、この該当箇所について、さらに詳細に観察を行っております。
0:03:11	三浦熊井となりますが、結果としまして、当該箇所の境界は凹凸自然的であり、せん断面や引きずり等の変形は、
0:03:21	認められないということを確認してございます。
0:03:25	ちょっと5ページの方をご覧くださいませ。
0:03:30	今ほどの形につきましては、今ほど、ご指摘いただいた箇所の詳細観察とは別に、新たに薄片資料を作成し、鉤物脈データが追加できないかと。
0:03:41	いうことを検討しております。結果としまして、ここで示しますように、中の1.5810行で、最新面を横断するi s今論争の薬を1ヶ所追加で確認することができました。
0:03:54	これにつきましては後程詳細に説明いたします6ページの方をご覧ください。
0:04:00	これはK18についてのコメントの回答でございます。
0:04:04	同様に左上の水色の四角で記したものが、いただいたコメントとなります。
0:04:09	最終の延長上に割れ目や移動境界があり、鉤物脈が明確に最新面を横断しているかわかりづらいと。
0:04:19	一泊人といただいております。
0:04:21	この箇所につきましても、既存の薄片を用いて、詳細に観察を行っております。
0:04:28	9結果といたしまして、まず左、2分後の二つの写真ですが、
0:04:33	ご指摘のこれ、我々についてですね、我々について詳細に観察した結果、
0:04:38	この割れ目の不連続箇所には、せん断宮引きずり等の変形というのは認められませんでした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:45	さらに下の方の右下の写真ですね、写真ですがこれは、
0:04:49	延長域のある医療境界についてです。これについても、せん断面ではなく、ある割れ目に沿って生成した。
0:04:56	鉱物、粘土鉱物というふうに判断してございます。
0:05:01	つきまして7ページをお願いいたします。
0:05:05	この98につきましてもご指摘をいただいた箇所の詳細観察とは別に、
0:05:11	荒谷博元資料を作成し、鉱物脈データが追加できないかを検討してございます。
0:05:17	結果としまして、ここで示しますように、これまで鉱物脈を確認していた、1の0.2、75個で、新たに作成した100円から、
0:05:28	最新面を横断するi s近野層の役を、
0:05:32	ここでも1ヶ所追加で確認することができてございます。
0:05:37	すみません8ページの方ご覧ください。
0:05:43	ここは敷地内断層と春日造である福田断層の破碎部の性状の比較。
0:05:50	に関するコメントの回答の概要でございます。
0:05:53	同じく左上の水色四角で書いたものが、いただいたコメントとなっております。
0:05:59	敷地の断層と同様に、福村断層の薄片観察の結果、これの不連続箇所があるという点について、
0:06:09	両者の違いを説明することといったコメントでございました。
0:06:14	この内容につきましては、既存の薄片を用いて詳細に観察を行っております。
0:06:21	それぞれの不連続箇所の観察結果を右の黄色の四角に示してございます。
0:06:28	まず敷地の連鎖では、和文の不連続箇所の周辺にその他のY面は認め、認められません。そして、Y面は、粘土鉱物、これはi s近野層ですが、
0:06:39	これにより、不連続となっております。
0:06:43	一方副断層、につきましては、Y面のこの不連続箇所の周辺には、
0:06:49	複数の連続的なY面が認められております。
0:06:53	そしてこの不連続箇所の粘土鉱物、i f混合層に、
0:06:57	不明瞭ながら、リーデルせん断面のRが画面が認められると。
0:07:02	いうことを確認しておりますので、両方で違いを確認することができてございます。
0:07:11	はい続きまして9ページの方、お願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:17	この敷地の演奏と福田断層の比較のもう一つのコメントに対する回答です。
0:07:23	敷地の断層と同様に、福田断層においても、粘土鉱物がY面を横断しているように見える点があると。
0:07:32	そういったご指摘ですが、これ左の下の写真eでご指摘を受けております。
0:07:39	これにつきましては、右の下の三つの写真。
0:07:43	をご覧ください。
0:07:45	この箇所の拡大写真の下、回転した3枚の写真です。
0:07:50	ご指摘も表現を横断しているように見えます。ご指摘いただいた箇所につきましては、詳細に言いますと、粘土鉱物中にせん断、せん断面、これ粘土鉱物の配列ですが、
0:08:02	これがしっかりあるということを確認してございます。
0:08:06	あとは10ページと11ページを、
0:08:10	見開きをご覧ください。
0:08:13	これは最後に、掲載についてのコメントの会概要でございます。
0:08:18	コメント回答の概要です。
0:08:20	この計算につきましては、他の評価対象断層の9本とは、ちょっと異なっております、
0:08:27	破碎部は、粘土状破碎部がなく、固結した破碎部のみの断層です。
0:08:32	この点につきまして、破碎部の鉱物組成、いや、そして変質の状況、
0:08:39	いうのを調べとともにですね、活動した痕跡、そして時代性について、
0:08:44	もう右の方で整理してございます。
0:08:47	こういったことも踏まえまして、鉱物脈法での活動性を確認するにあたり、
0:08:53	11ページの方を見ていただきたいんですが、中ほどにスケッチと写真を示しておりますが、
0:08:59	通常の大久保スタッフ。
0:09:01	であります1本とか、日本の狭い範囲の、
0:09:04	最新面の変位変形の確認っていったものではなくて、ここで赤で最新ゾーンと書いておりますが、この広い範囲全体で、鉱物脈法としての変形の方、
0:09:16	確認を行っております。その結果、
0:09:20	計算には後期更新世以降の活動がないということ、ここでも再確認してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:27	13 ページ。
0:09:29	以降がですね、敷地の断層の活動性を、
0:09:32	を確認した地点すべてのデータを、13 ページには図。
0:09:38	14 ページ 5 表で整理してございます。
0:09:44	はい。それでは引き続きまして、詳細の本文の内容につきまして、イシダの方から説明させていただきます。
0:09:53	北陸電力の一緒です。
0:09:55	それでは 20 ページ以降の資料について説明させていただきます。
0:09:59	今回の資料は、コメント回答部分を抜粋した構成となっております。
0:10:05	それでは 20 ページから、まずコメント No. 126 番への回答資料について説明いたします。
0:10:12	コメント No.126 につきましては、鉱物脈が最新面を横断する状況が明確でないと。
0:10:19	コメントを受けました、海岸部の K2K18 と。
0:10:23	陸域の S2S6 の三つの断層について薄片を詳細に再観察した結果、
0:10:29	または新たに作成した薄片の観察結果をもとに評価した結果を説明いたします。
0:10:36	次の 21 ページには、鉱物脈法による評価に用いた薄片の一覧表を示しております、
0:10:43	このうち紫字で示した箇所につきまして、今回の追加変更箇所になります。
0:10:52	それではまず経緯の追加変更点についてご説明いたします。23 ページをご覧ください。
0:11:02	こちら K2 の鉱物脈法による評価地点を示しておりますが、紫字で示しているところは、
0:11:09	K2 の鉱物脈法による評価の説明性向上を目的に、新たに G-1.5 の 80 行で、
0:11:16	薄片を作成し、評価を行った部分を反映してございます。
0:11:21	まずは、前回から示しています。1-1.1-87 項による、評価の再観察結果についてご説明いたします。
0:11:30	30 ページをお願いいたします。
0:11:38	1-1.1-87 項の評価について、まず振り返りをさせていただきますと、
0:11:44	左の薄片①の写真にある通り、
0:11:48	最新面としましては、最新面 1 と、最新面 2 の二つが認められまして、
0:11:54	最新面 1 については範囲、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:57	最新面については、範囲Bで詳細に観察を行い評価を行っております。
0:12:02	この右側には、そのうち、簡易の写真とスケッチがありますが、
0:12:07	I S 混合層が最新面位置を明確に横断して分布し、連続箇所粘土鉱物にせん断面や削り等の変形が認められないことを確認しております。
0:12:19	続いて 37 ページをお願いいたします。
0:12:25	こちらが 5 月 20 日の審査会合を受けまして、今回追加した内容となります。
0:12:31	範囲Bでは、最新面にだけでなく、最新面1についても、宇津宮が横断する状況が確認できます。
0:12:39	しかし、最新面1の延長位置付近に黄色や灰色、
0:12:44	白色の干渉色を呈する粘土鉱物の境界が分布することから、
0:12:49	せん断面の有無を確認するために、今回詳細に観察を行いました。
0:12:54	38 ページをお願いいたします。
0:12:58	こちらは、その境界付近を拡大した写真になりますが、
0:13:02	まず、最新ゾーン及びその周辺に広く分布する黄色と灰色の粘土鉱物は、
0:13:09	粘土鉱物の量の違いで、干渉色が若干異なりますが、
0:13:14	他の薄片による観察結果も踏まえると、いずれも I S 混合層であると判断しております。
0:13:21	また、白色の粘土鉱物については、この
0:13:24	隣接校の 1-1.1 項でも同様な粘土鉱物が認められております。
0:13:30	この例としまして、41 ページをお願いいたします。
0:13:37	こちらが 1-1.1 項で実施しました X R D 分析の実施結果になりまして、
0:13:43	その次の 42 ページには、E P M A 分析の結果を示しております。
0:13:49	これらの結果から、この白色の粘土鉱物はセピオライト。
0:13:53	と判断しております。
0:13:56	また、38 ページに戻っていただきまして、
0:14:00	これらの観察結果、分析結果を踏まえまして、この白色の粘土鉱物につきましても、セピオライトであるというふうに判断しております。
0:14:10	これらの粘土鉱物の境界を詳細に観察した結果、
0:14:14	この境界は凹凸しており、せん断面や引きずり等の変形は認められておりません。
0:14:21	39 ページ、40 ページには、
0:14:24	同様な協会の別な場所の、
0:14:27	部分を観察した結果を示しておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:30	これらと同様な結果がやられております。
0:14:34	ただし、I S混合層とセピオライトの境界がこの範囲Bの最新面1の延長位置付近に分布することを踏まえまして、
0:14:41	この最新面1と鉱物脈との綺麗関係につきましては、先ほどご説明いたしました範囲で評価を行うこととしております。
0:14:50	1-1.1-87項の説明は以上となります。
0:14:55	続いて、今回新たに作成したG-1.5の80個の評価結果について説明いたします。
0:15:02	44ページをお願いいたします。
0:15:08	この右下のスケッチと写真で示すような、最新面をI S本放送が横断して分布している状況を、この項でも確認しております。
0:15:17	評価の詳細についてご説明いたしますと、
0:15:20	まず45ページには、この薄片を作成しました。
0:15:25	コアとブロック写真を示しております。
0:15:28	次の46ページと47ページには、その作成した薄片の観察結果を示しております。最新面が一つ認められまして、これと、
0:15:39	変質鉱物の関係を確認するとしております。
0:15:43	続いて49ページをお願いいたします。
0:15:48	こちらはG-1.5の80個で行ったXRD分析の結果を示しております。粘土鉱物としてはスメクタイトが認められております。
0:15:58	同じく、このK2の他のポーリング孔で実施した粘土分を踏襲したエクサルD分析の結果を踏まえまして、この粘土鉱物はI S混合層であるというふうに判断してございます。
0:16:10	また50ページと51ページには、このG-1.5の80行の薄片で実施いたしました。
0:16:17	E P M A分析の結果を示しております。
0:16:20	こちらの結果からも、I S混合層であるというふうに判断しております。
0:16:27	続いて、53ページをお願いいたします。
0:16:32	この最新面とI S混合層との関係を、こちらの範囲で確認しております。
0:16:40	詳細に観察した結果は54ページを見ていただきたいのですが、
0:16:45	I S混合層が最新面を横断して分布し、最新面が不連続になっており、不連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形が認められないことを確認しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:59	このことから、G-1.5の85においても、経理の最新活動は、IS混合層の生成以前であると。
0:17:05	いうふうに判断しております。
0:17:09	55ページには、この薄片の回転写真。
0:17:13	56ページには、最新面のエンジョイ時に認められる割れ目の詳細な観察結果をつけておりました、
0:17:20	この割れ目は途切れて、不連続となっていることや、
0:17:23	不連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形は認められないことを確認しております。
0:17:31	57ページから62ページの間には、
0:17:34	この発言で行った分析の結果ですとか、15°刻みの改善写真をつけております。
0:17:42	K2のコメント回答に関する説明は以上となります。
0:17:46	続いて、K-18に関するコメント回答を行います。
0:17:50	64ページをお願いいたします。
0:17:58	K-18につきましては、1の0.2の75行で作成した薄片を用いて評価を行っております。
0:18:05	このうち今回コメントをいただいたのは、薄片②でして、この薄片②について謝意観察を実施しております。
0:18:14	また、新たにこの項から、薄片③を作成し、評価を行っております。
0:18:21	まず、再観察を行った薄片②についてご説明いたします。
0:18:26	80ページをお願いいたします。
0:18:35	薄片②は、下の写真、スケッチにありますように反映で、is金宗が最新面を横断して分布し、その不連続箇所の粘土鉱物に、
0:18:46	変位変形が認められないと。
0:18:48	評価したものになります。
0:18:50	正しい最新面の延長上に割れ目や色境界が認められることから、再観察を実施しております。
0:18:58	81ページをお願いいたします。
0:19:01	こちらは、範囲を拡大した写真になりますが、
0:19:04	右の直交ニコルの薄片写真をご覧くださいますと、
0:19:09	黒い矢印の先の最新面の延長位置に、
0:19:13	線状の粘土鉱物が認められますが、
0:19:15	これらは連続性に乏しく、
0:19:17	その周辺には、最新面と異なる向きの割れ目に沿って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:22	同様の粘土鉱物が分布することから、これらはせん断面ではなく、割れ目に沿って生成した粘土鉱物だと判断しております。
0:19:32	82 ページには、この範囲の改善写真を示しております。
0:19:37	続いて、83 ページをお願いいたします。
0:19:43	こちらは同じく伴家の最新面の延長位置に認められる割れ目を詳細に観察した結果を示しております。
0:19:52	右側に割れ目周辺を拡大し、移転させた写真を示しておりますが、
0:19:57	割れ目は途中で途切れて、不連続になっており、
0:20:00	不連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:20:07	また、左下の詳細観察範囲に、
0:20:10	の写真では、
0:20:12	この割れ目の両側の凹凸形状が概ね一致することから、
0:20:17	せん断面ではなく、乾燥収縮により生じた割れ目であると判断しました。
0:20:23	薄片②の再観察の設再観察結果の説明は以上となります。
0:20:29	フジタ 84 ページからが、
0:20:31	今回新たに作成した薄片③の説明となります。
0:20:38	84 ページは、この薄片の観察結果を示しております、
0:20:42	アペン 0102 と同様に、最終面が一つか分冊されております。
0:20:49	そいで 88 ページをお願いいたします。
0:20:55	こちらの範囲において、最新面と I S 混合層との関係を詳細に観察しております。
0:21:02	この下の拡大写真やスケッチで示しておりますように、粘土鉱物が最新面を横断して分布し、
0:21:10	最新面が不連続になっており、
0:21:12	不連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:21:18	89 ページには、より拡大して示した写真。
0:21:22	90 ページには回転写真。
0:21:25	91 ページには、粘土鉱物ががん編や鉱物編の間を埋めて、脈状に奥まで分布する状況を観察した結果を示しております。
0:21:35	以上のことから、薄片③も含めまして、計 18 の最新活動は、I S 混合層生成以前であるというふうに判断しております。
0:21:46	K 18 のコメント回答に関する説明は以上となります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:50	次に、S2S6に関するコメント回答になります。
0:21:54	97ページをお願いいたします。
0:22:02	S2S6の鉱物脈の評価を行っている一つである、このEの8.5の2項については、
0:22:09	下のスケッチ薄片写真にありますように、最新面をI S混合層が横断する状況が認められます。
0:22:18	ただし、この鉱物脈は、他のものと比べますと、スケールが小さく、最新面が凹凸し得るだけのように見えるといった趣旨のコメントをいただいております。
0:22:29	このコメントを受けまして、再観察を行ったのですが、この薄片につきましては、鉱物脈が最新面を明瞭に横断していないと、いうふうに判断しまして、
0:22:39	このSES6につきましては、他の系の6.2-2孔、
0:22:43	F-8.5'孔の薄片で、鉱物脈法による評価を行うこととしております。
0:22:50	107ページには、この範囲の観察結果を示しております、
0:22:56	また109ページには、同じ範囲で別範囲の横断箇所の観察結果を示しておりますが、
0:23:03	こちらの評価につきましても、先ほど同様明瞭に横断していないというふうに判断をしました。
0:23:11	コメントNo. 126への回答の説明は以上となります。
0:23:17	続いて、コメントNo. 127番。
0:23:20	敷地内断層と活断層との破碎部性状の比較に関するコメントへの回答について説明いたします。
0:23:26	110ページをお願いいたします。
0:23:32	こちらはコメントなコメントの内容としては、大きく2点ありまして、
0:23:37	薄片観察の結果、
0:23:39	敷地内断層と活断層である福田福浦断層のいずれにも、Y面の不連続面が認められてんと。
0:23:46	粘土鉱物がY面を横断しているように見える点について、各断層の違いを説明するために、詳細観察を追加で実施いたしました。
0:23:56	まずはY面の不連続箇所の比較結果についてご説明いたします。
0:24:00	111ページをお願いいたします。
0:24:06	こちらは敷地内断層と活断層である浦断層の性状を比較整理した表になりますが、
0:24:13	今回新たに村崎字で連続的なY面という項目を追加しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:20	敷地内断層につきましては、連続的なY面がないとしているのに対して、福浦断層は複数ありというふうになります。
0:24:29	このうち、福良断層でも一部不連続点はワインが認められるため、それと敷地内断層を比較いたしました。
0:24:37	126 ページをお願いいたします。
0:24:46	こちらは敷地内断層の代表として、
0:24:49	S1の薄片。
0:24:50	角田断層は、FK-1孔の薄片を比較しております。
0:24:56	S1の不連続箇所を詳細に観察した結果が左下の写真となりますが、
0:25:01	Φ面はIS混合層により不連続となっております、
0:25:04	連続箇所の周辺に、その他のY面が認められません。
0:25:10	一方、福田断層のF系1孔の不連続箇所を詳細に観察した結果として、
0:25:16	右下の写真をご覧くださいますと、
0:25:19	不連続箇所の周辺には複数の連続的なY面が認められます。
0:25:25	また、不連続箇所の粘土鉱物に不明瞭ながら、Rは面が認められ、このY面とRONE面の関係は、
0:25:33	右の文献にある。
0:25:35	ディーゼル線断面の模式図に示される面構造や、古井リーデルせん断面の屈曲と類似しており、
0:25:42	敷地内断層の連続箇所とは異なる構造を示しております。
0:25:47	127 ページにはこの福浦断層の不連続箇所を拡大した詳細観察写真をつけております。
0:25:56	また、151 ページをお願いいたします。
0:26:05	こちらは福浦断層の大坪川ダム右岸喜多道路の露頭から作成した薄片においても、
0:26:12	同様に不連続箇所が認められ、比較を行いました。
0:26:17	右下の直交ニコルの写真で、フレンズ仮称2ヶ所、点線の丸で囲っております。
0:26:24	このうち左が不連続箇所には、
0:26:26	先ほどのFK-1孔の薄片と同様に、Φ面とRONE面の関係が認められます。
0:26:34	一方、右の不連続箇所につきましては、露頭から採取した薄片であるため、
0:26:39	後期更新世以降に生成した可能性のあるハロイサイト等により、連続となっておりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:46	不連続箇所周辺には連続的なY面が認められておりまして、やはり敷地内断層の発見とは異なる様子が認められます。
0:26:56	続いて、Y面と変質鉱物との関係について比較した結果について説明いたします。
0:27:01	153ページをお願いいたします。
0:27:07	こちらは上の段が、敷地内断層の代表として、S2S6の薄片。
0:27:12	下の段は、福浦断層の大坪川ダム右岸喜多道路の派遣を示しております。
0:27:19	直交ニコルの0°会での薄片写真がわかりやすいのですが、
0:27:23	敷地内断層もクーラ断層も粘土鉱物が、
0:27:27	Y面を横断しているように見える箇所が認められます。
0:27:31	これらを詳細に観察した結果が右の配点写真になりますが、
0:27:35	上の段の敷地内断層は、薄片を回転させても、
0:27:39	Y面を横断する粘土鉱物にせん断面や傷等の変形は認められません。
0:27:46	一方、福浦断層では、左30度回転の写真がわかりやすいですが、Y面を横断しているように見える箇所の粘土鉱物中に、
0:27:56	粘土鉱物の配列によるせん断面が認められ、
0:27:59	敷地内断層の横断箇所とは異なる構造が認められます。
0:28:05	154ページ、155ページには、この福田断層の薄片を拡大して示した観察結果を示しております。
0:28:14	コメントNo.127番への説明は以上となります。
0:28:19	最後に、コメントNo. 128で計算の形成環境等を踏まえた評価についてご説明いたします。
0:28:26	157ページをお願いいたします。
0:28:33	計算は、他の評価対象断層と、見た目や性状が異なることが、これまでの調査からわかっております。
0:28:41	また、薄片観察において、
0:28:43	高い干渉色を示す鉱物が認められることから、
0:28:47	含まれる宇津等の違いの有無を明らかにした上で、経営環境等の検討結果を踏まえた評価を行いました。
0:28:56	158ページをお願いいたします。
0:29:00	ここでは、計算の活動性評価の流れを示しておりまして、この次の159ページ以降には、これの根拠となるデータを示しております。
0:29:11	まずこの158ページの上の(1)の部分では、
0:29:16	計算とその他の評価対象断層との性状の比較結果を記載しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:23	比較を行うに当たりまして、今回、
0:29:26	追加した分析としましては、計算のN-2.3-1孔の薄片で認められました。
0:29:33	高い干渉色を呈する鉱物の分析と、
0:29:37	Kさんの破砕部中の斜長石の曹長石化の検討を行っております。
0:29:44	この追加分析の結果、高い干渉色を呈する鉱物は、他の評価対象断層でも認められる。
0:29:51	単斜輝石であることと、
0:29:54	Kさんの破砕部の斜長石には他の評価対象断層と同様、曹長石化は認められないと。
0:30:00	いうことを確認しました。
0:30:04	まず薄片で認められた高井家の所属を呈する鉱物の分析結果について、163ページをお願いいたします。
0:30:18	こちらは、この薄片の詳細観察結果と、
0:30:22	E P M A分析の結果、
0:30:24	これらを文献と照らしました結果、この赤い干渉色を示す鉱物は、斜輝石であることを確認しております。
0:30:33	164ページから166ページには、このE P M A E P M A分析の結果を示しております、
0:30:41	右の表に、斜輝石の特徴である、シリカマグネシウムカルシウムが多く含まれると。
0:30:48	いうことを確認しております。
0:30:52	また、曹長石化の検討結果につきましては、167ページをお願いいたします。
0:31:02	この上の段には、今回追加した計算の分析結果、
0:31:07	下の欄には、これまでお示ししてきました、S2S6での分析結果と母岩である安山岩での分析結果を示しております。
0:31:17	分析の結果、Kさんの破砕部には他の評価対象断層と同様、曹長石化は認められておりません。
0:31:25	それではまた158ページに戻っていただきまして、
0:31:30	これらの追加分析結果と、これまでの企業調査結果を踏まえまして、
0:31:35	比較した結果を、
0:31:37	A社に共通点と相違点。
0:31:39	して整理をしております。
0:31:42	これらの比較結果から考察した結果を下の四角に記載しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:47	計算とその他の評価対象断層の相違点の一つとしましては、
0:31:51	逆断層センスを伴う粘土状破碎部の有無でありまして、
0:31:55	160 ページに、破碎部と変質鉱物の形成プロセスを、
0:32:01	示しておりますが、
0:32:06	こちらと照らしますと、計算を含めた、いずれの評価対象断層も、安山岩形成時の正断層センスの断層活動によって形成されたと考えられます。
0:32:17	ただし、計算は、その後の逆断層センスの断層活動がないと。
0:32:22	いうふうに判断しております。
0:32:25	またこの 160 ページで、
0:32:28	プロセスの中で、紫色時、
0:32:30	示しておりますが、能登半島西岸の大部分を負っている火山につきましては、穴水累層という名称を用いてきましたが、
0:32:40	先日の敷地近傍の会合でのコメントを反映しまして、最新の文献を踏まえた名称である。
0:32:46	別所だけ安山岩類という名前に変更をしております。
0:32:52	また 158 ページに戻っていただきまして、
0:32:58	同様に比較の結果としましては破碎部中の鉱物組成を比較しますと、先ほどの追加分析の結果を踏まえまして、
0:33:06	A さんも含めまして、いずれの評価対象断層も類似していると。
0:33:10	さらに、変質鉱物としては、いずれも i s 金大戸が認められるということから、同じような環境下で、現実作用を受けているというふうに判断しております。
0:33:23	さらに、相違点としまして薄片観察の結果、
0:33:26	計算は、他の評価対象断層と異なり、直線性連続性がよい面構造が認められません。
0:33:34	これらを踏まえまして、
0:33:36	計算の鉱物脈法による評価につきましては、その他の評価対象断層のように、
0:33:42	最新面と、
0:33:43	演出鉱物の関係ではなく、最新面が分布する可能性のある最新ゾーンと演出鉱物との関係を幅広く確認することとしまして、
0:33:53	これらを活動性評価を行っております。
0:33:56	この考えのもと、(2) に示しますような、これまで審査会合で説明してきましたが、M-2.2 孔による活動性評価を行いまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:06	計算の最新活動が、I S混合層生成以前あるというふうに評価をしています。
0:34:12	さらに(3)としまして、これまで補足資料で整理してはありますが、
0:34:17	A3の最新ゾーンの形成環境から推定した活動性評価の結果も併せて総合的に評価をすることとしております。
0:34:28	3の最新ゾーンは、浅い流動が認められる固結した破碎部から成っております、
0:34:34	これにつきまして知見に照らしますと、
0:34:37	少なくとも10MPa程度の封圧下の地下深部で形成されたと考えられます、
0:34:43	計算の最新活動が、地下深部で生成されたI S混合層生成以前であると。
0:34:49	いうことと整合しております。
0:34:52	以上のことから、(4)、下にありますけども、まとめとして整理しましたように、計算に後期更新世以降の活動は認められないというふうに評価しております。
0:35:05	次ページ以降には、これらの根拠となるデータを整理してはしまして、
0:35:09	159ページから172ページには、計算とその他の評価対象断層の性状を比較した結果、
0:35:18	173ページから196ページには、これまでご説明してきましたM-2.2孔による活動性評価の結果、
0:35:26	197ページから205ページには、形成環境から推定した活動性評価の結果をつけております。
0:35:34	最後に206ページ、206ページには、まとめとしまして計算の活動性評価のまとめを整理させておいて。
0:35:41	整理させていただいております。
0:35:44	本資料の説明は以上となります。
0:35:52	規制庁のカイダです。事業者側からの説明は以上ということよろしいですか。
0:36:02	はい北陸電力吉田です。以上となります。
0:36:06	はい。規制庁の甲斐ですわかりました
0:36:09	確認の方に移らせていただきます。
0:36:13	まずちょっと最後の方に出てきた、
0:36:18	計算のところからお話をしようかなと思いますんで、
0:36:26	160ページなんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:34	考え方をフローチャートのような形で整理されていると。
0:36:39	いうところで、紫色の字で書いてある、別所だけ安山岩類っていう、
0:36:47	表現に変えますというお話で、ここで
0:36:51	注書きで書いてはあるんですけども、
0:36:55	これはですねちょっと
0:36:57	単にちょっとこう文字づらだけ変えて、それです。
0:37:01	イコールなのかどうかっていうのが、この資料からはちょっとわからない。
0:37:08	ので、
0:37:10	資料にですねちゃんと
0:37:13	なんかもともとあった層序表とか、地質、
0:37:19	層序表っていうのはこういうもので、
0:37:21	こういうふうの実装情報を変えたんで、穴水累層、
0:37:27	がやっぱり所だけ安山岩類にえと。
0:37:30	変わりましたっていうところがわかるようにですね、ちょっとこの表現を変えましたっていうだけだとわからん。そのあたりが、それだけで済むのかわからないので、
0:37:40	どういった知見に基づいて、どういうふうに層序を変えて、
0:37:46	結果こういうふうに変わりましたっていうところの説明もつけた上で、
0:37:52	こういったふうに江藤評議員
0:37:55	別所だけ安山岩類っていうふうに変えるっていうふうには、
0:37:59	していただきたいんですけども、この点はよろしいですかねこれ敷地内っていう敷地近傍の方のコメント回答の範疇かと思うんですけども、今回これが初出なので、
0:38:11	そういった説明もつけていただきたいんですが、よろしいですか。
0:38:16	はい。北陸電力の野原です。
0:38:19	今ほどのご指摘ですが今回敷地内の資料ということで、こういった注釈だけで、まず記載させていただきました。もともとこの敷地近傍の資料の方には、
0:38:31	今カイダさん言われたような、基となる文献ですとか、層序表の変遷、そういったものがわかる資料をつけようというふうに考えておりました。しかしこの
0:38:42	敷地内の資料に処しが初出となるということもありますので、
0:38:48	次回の資料にはこの敷地内の資料にもそういったものを反映して、反映して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:53	お付けしたいなというふうに考えております。
0:38:56	以上です。
0:38:58	はい。規制庁の甲斐です。わかりましたじゃその点よろしくお願いします。
0:39:03	いずれそういった説明入ってくるかと思うんですけども、
0:39:08	そうしたときに同じスタンスで書いたときに、敷地の周辺は穴水累層といったの以外に、
0:39:17	例えば何か草木ゴソウとかそういったのも出てきたような気がするんですが、
0:39:23	そういったのも、変わるんですかね。穴水累層が、
0:39:29	別所だけ安山岩類に変わるっていう、
0:39:33	だけなのか、他の全体も、何か一部実質今日
0:39:39	年代区分が変わったりとかするのかっていうのも、ゆくゆく説明あるかと思うんですけどちょっと今の段階でわかれば教えてください。
0:39:48	はい。北陸電力の野原です。
0:39:50	地層面が変わるのは穴水累層だけというふうに考えております。草木5層の他の室長はそのままというふうに
0:39:59	考えております。以上です。
0:40:03	はい。規制庁カイダです。わかりましたいずれにせよそのあたりの説明がわかるような形で、
0:40:12	次の資料にはつけていただくようよろしくお願いします。
0:40:16	計算の話が今ここで出てるので、
0:40:20	ついでにという形で、
0:40:23	申し上げますけれども 160 ページ、
0:40:28	もう見ますと、
0:40:30	これあくまで評価対象断層だけに限って、こういった、
0:40:37	断層が挙げてあって、計算がだけ違いますということなんですけれども、
0:40:45	何か、
0:40:46	断層全体を見たときに、これは計算だけなんですかね
0:40:52	これを見ると、何か他は全部一緒に計算だけがすごい。
0:40:57	特殊なものであるようにも見えてしまうんですけども、
0:41:01	実はほかの断層も含めて考えると、まあ、あの計算のようなグループと、
0:41:07	それ以外のグループっていうのがあって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:10	評価対象断層として上がっているものは計算なのでここに計算だけ出てるのであれば、
0:41:17	ちょっとこう計算だけの特殊性が際立たないような、
0:41:22	意味でも何かそういった、ちょっと説明もあった方が理解が進むんですけども、そのあたりはどうなんですかやっぱり計算だけっていうことなんですか。
0:41:35	北陸電力の石田です。
0:41:37	今ほどカイダさんおっしゃられたように、評価対象断層だけに特化しますと、やはり粘土状破碎部の有無という点で、計算だけが異なるというふうに見えてしまうんですけども、
0:41:50	敷地内アースを全体で見ますと、
0:41:53	例えば海岸部ですね、老眼に分布している海岸部のK1だったりですか、
0:41:59	K6からK11のような断層につきましても、粘土状破碎部は、
0:42:06	認められませんが固結した破碎部のみから成っております。
0:42:09	そういう意味では、こういった掲示ですとか、K6K7k8、K11までの断層につきましても、計算と同じような、グループに分類されるのではないかと。
0:42:20	いうふうに考えております。以上です。
0:42:25	規制庁のカイダです。わかりましたじゃ
0:42:28	その辺りの情報も、このページに入れるのか別のページであるかはともかく、
0:42:35	入れておいていただいた方が、
0:42:38	誤解もないというか、理解しやすいので、
0:42:42	よろしくお願いします。
0:42:44	で、はい、じゃあよろしくお願いします。
0:42:48	今のお話と関連してですね。
0:42:52	ちょっと
0:42:53	評価対象断層の選定の話に戻る。
0:42:56	ちゃうかもしれないですけども、
0:43:00	今おっしゃったようなK6とかからK67890とかは、
0:43:06	K2とK3で代表させて評価しますという、
0:43:10	A評価だったと思います。今、今回の資料にはないんですけども、
0:43:16	K6とかK10の、
0:43:19	とかは固結破碎部で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:22	未区分でセンスもわかんないっていうものだけど、
0:43:27	経営に計算に挟まれたようなところであって、
0:43:34	向きも同じようなもんだから、形に計算で代表させますと。
0:43:39	いう話だったんですが、
0:43:42	ただここ 160 ページの説明だと、
0:43:47	K2 と K3 っていうのは、何ていうか最終活動時期は、
0:43:52	別で、
0:43:54	要は、別の時代に動いたもんだということに、
0:43:58	なるのであれば、
0:44:00	計算は何かわかるんですけども、K2 が、
0:44:03	その固結破碎部の、
0:44:06	代表として扱うというところの考えは、
0:44:10	どうなんですかね、これは特に、
0:44:13	矛盾はしてないということで、
0:44:15	いいのかっていうのをちょっとお考えを確認したいんですが。
0:44:22	北陸電力の石田です。
0:44:25	今の活動性評価も含めて考えますと、そのような、
0:44:31	考え方がちょっと出てくるかと思うんですけども、選定までの考え方としましては、
0:44:39	ステップ三つありましたけれども、切り合い関係による新旧関係でステップ2が、
0:44:45	規模ですね、破碎部の幅ですとか、断層自体の長さによる規模っていう観点で、何かに代表させると。
0:44:56	いうふうな考え方をしていたと。
0:44:58	ステップ3がちょっと特殊なやり方をしていますけれども、基本的には、ステップ1ですとかステップ2の考え方に倣ったような、
0:45:05	考え方をするというふうに考えておりました、
0:45:09	そういった意味では、先ほどのK6、K7、
0:45:12	K11までの短い断層については、経営に計算に挟まれるような形で分布している走向傾斜が類似したもので、
0:45:23	グルーピングされるというふうに考えておりました、規模といった観点ではやはり経営に計算が大きいということでこの権利計算に代表されると、いうふうな考え方で、
0:45:33	選定の段階では、そういった時代性ですとか、そこまでを、
0:45:37	考慮に入れていないというのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:40	我々の考え方でございます。以上です。
0:45:48	はい。規制庁のカイダです。
0:45:52	お考えは、わかりました。
0:45:57	でも代表できるっていうのは、
0:46:01	活動時期までは、同じようなグループだったら、
0:46:06	同じような時代に動いたであろうっていうような、
0:46:10	何ていうか、
0:46:12	もくろみっていうか、
0:46:14	発想っていうのは特に選定のところで入ってきてないっていうこと。
0:46:19	でいいんでしょうか。
0:46:20	特にその辺は矛盾なく説明できるということでよろしいですか。
0:46:26	はい。もちろん感覚としましてはやはり、断層の長さですとか破碎部幅が大きければ大きいほど、何回も活動していて、動いていると、いうようなことが、
0:46:37	感覚的にはわかるというところで、
0:46:42	そういった時代で、時代性という観点は、
0:46:46	確かに入っていると。
0:46:47	いうところで、ただ、経営に計算、少なくとも、この
0:46:52	長井断層に代表できるという考え方で矛盾はしていないというふうに我々考えております。
0:46:58	以上です。
0:47:00	はい北陸電力吉田です。ちょっと補足させていただきますと、評価対象断層選定のときの最終的なフローを、
0:47:08	話ですが、最初自在性が一番若いであろうというのを普通選定するんですが、若井と若井のを示す時に切り切れあり方という議論が大分させていただいて、
0:47:19	最終的にわかるだろうという判断したのは、海岸の断層面的に分布がわかる9-2とですね、あと9-49-5ですかね。それが、この3本のうち9-2が、
0:47:31	比較的新しいだろうという形で、評価対象断層を選ぶときに時代性がわかるだろうと思って出したのは9-2だけです。それ、それよりか、関しましては、規模であったりとか、10節、
0:47:45	その直下にあると、こういった関係で中止しておりますので、最終的にKT2とK-3が、活動性が違うだろうというのは、スタートの段階での矛盾と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:56	さらに当たらないというふうに考えております。
0:47:59	補足です。以上です。
0:48:03	はい規制庁の甲斐です。わかりました一応
0:48:07	手元にそのフローもあるんですけど一応お考えは、ご説明、
0:48:14	所わかりました。
0:48:20	引き続いてですね、計算、
0:48:25	なんですけれども、
0:48:33	例えば 163 ページ、今回のコメント回答で、
0:48:37	力連石なのか奇跡なのかっていう話があったんですけども、
0:48:44	この軌跡で、
0:48:45	奇跡だ。
0:48:47	だったということなんです、
0:48:49	これキセキっていうのは周りの岩石に入ってるものが出てきてるといふふうに思っているんですかねそうであれば何か、
0:48:57	この辺りは、
0:48:59	書いてあるのか、どっかに書いてあるのか。
0:49:03	特にわからないんですけども、奇跡はどこから来たのかっていうようなところは書いてある、あるんでしょうかどっかに。
0:49:15	顧客電力スモリです。楨関がどこぐらいかというところはすいません明記はしていないんですけども、増額分ということで簿外ぐらいかなというふうに考えてございます。
0:49:27	その旨もわかるように資料に明記させていただきたいと思います。以上です。
0:49:32	はい規制庁の甲斐です。
0:49:34	わかりました母岩から出てきたっていうふうに考えであればそういうふうに、
0:49:39	書いておいていただきたいのでよろしくお願いします。前回の、
0:49:44	指摘も、指摘は何か、
0:49:46	その破砕部中で、
0:49:49	経変質というか何か、高温でそこで生じた。
0:49:53	のじゃないかっていうような前提での、何かコメント等でもあったように記憶してますので、
0:50:00	単に母岩から出てきたものであるということがわかったということであれば、そういったところの考えを書いておいていただきたいので、よろしくお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:17	で、引き続き最初の方に戻りましてですね、
0:50:23	21 ページをお願いします。
0:50:29	一覧表が出てますけれども、
0:50:34	これちょっともう、今更感ってというか、ひょっとしたら過去にも説明あったのかもしれないんですが、
0:50:43	この最新面 1 と、最新面 2 の、
0:50:47	何か命名のルールみたいなのが、
0:50:50	あるのかっていうところなんですけれども、例えば今回、K2 で新しく作りましたという、
0:50:58	G1.5810 個薄片①っていうところ。
0:51:02	は最新面。
0:51:04	①。
0:51:05	ていうふうには書いところに丸がついてまして。
0:51:11	最新面①は、例えば、
0:51:16	40、
0:51:20	48 ページ。
0:51:23	とかを見ますと、
0:51:25	これ最新面としか書いてないんですけれども、
0:51:30	48 ページの
0:51:32	図で見ると破砕部の、
0:51:35	下盤側境界が最新面で、最新面①ってというのは、
0:51:41	ここになってると思うんですが、
0:51:44	そ、
0:51:45	別の、
0:51:50	例えばは 1.1. 1、1.1817 孔とかだと。
0:51:57	どこでもいいんですけど、
0:52:01	37 ページとか見ますと、スタンバン側境界ってというのは最新面になって書いてあって、
0:52:08	最新面位置ってというのは、上盤側境界になってるんですね。
0:52:12	この 12 のつけ方ってというのは、
0:52:17	さっきの一覧で、
0:52:19	言うと、
0:52:21	ただ単にこの薄片を見て最初に付け、見つけた方が最新面 1 で、最新面に、
0:52:27	後でつけた方がになってる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:30	そん、ただそれだけの違いなのか。
0:52:33	だから、上盤側下盤側とか、意識して何かつけてあるのか。
0:52:37	そのあたりは、
0:52:40	どうなんですか。ちょっとひよっとしたら、
0:52:43	すでに説明があったかもしれないですけど確認させてください。
0:52:49	はい。北陸電力津守です。今回の資料はですねコメント回答に特化した部分だけおつけしていますので、前回会合までの資料のところには、最新面の認定の考え方というところのページ、
0:53:03	お示した今回ついてないんですけども、そういうところでお示しておりました。で、考え方を改めてご説明させていただきますと、100円、上盤側から一、二ところそういう使い方をしているわけではなくてですね、薄片も、
0:53:18	例えば上盤側下盤側を見下げた方向につくるですとか、逆に見上げた方向に作るとかっていうところが、コアによって、もう見え方によって、鉱物脈がすごく横断してるように見えるような、
0:53:30	ところをCTスキャン等で絞って行ってそこで薄片を作るというやり方をしておりますので、必ずしも正面で薄片を見たときに、
0:53:38	左側右側下盤というふうに決まってるわけではありませんので、そういう意味では伴下盤、どちらかを、一、二というふうなつけ方をまずしておりません。
0:53:47	薄片を、今の例えば37ページ先ほど言っていたのでこのページでご説明しますと、
0:53:53	薄片を正面で見たときに、左側にこれたまたま番来てますけれども、
0:53:58	目を認定するときに左側に、
0:54:01	あ、すいません。衛藤。
0:54:05	26ページの方がわかりやすい失礼しました。26ページでご説明させていただきます。
0:54:14	このように薄片を正面で見たときにですね、左側にAの方から、一番というふうにつけていきまして、この薄片の最新ゾーンの中に、面が
0:54:25	幾つあるかというところをまず抽出します。それで左側から年一面にと名付けました。
0:54:30	このそれぞれ面一面に直線性連続性ですとか、そういう観点で見たときに、
0:54:35	最新面の可能性のあるものをすべて抽出するという形で、最新面1、2というふうにつけております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:43	これが例えば年が二つ、年1年とあるんですけども、明らかに年1の方が、
0:54:48	直線性連続性に飛んでいて、年には最終名の可能性はないというふうにわかれば、年1のみが最新面という形で、
0:54:57	この場合は、人、最新面が一つという形になります。
0:55:01	この場合は、26ページの場合は、年1年にいずれも最新面の可能性があるということで、それぞれ最新面1、最新面2というふうに名付けまして、この1と2に優劣はありません。両方とも、
0:55:13	最新面の可能性があると考えまして、再指名1、2それぞれについて鉱物脈を確認しに行ったと。
0:55:20	そういう考え方で名前をつけてございます。
0:55:23	以上です。
0:55:26	はい。規制庁のカイダですわかりました。すでにここにはない別のところで説明がされているというところで、そちらの方で、
0:55:36	確認したいと思います。
0:55:38	いずれにしても、目1とか面についてというのは
0:55:43	人数、目1同士が繋がってるとかそういうわけではなくて、
0:55:48	見た範囲での決定してるっていうことで、
0:55:51	理解しましたので、
0:55:53	はい。
0:55:54	承知しました。
0:55:57	はい。では引き続き、
0:56:03	100、127ページ。
0:56:07	福浦断層、
0:56:11	の、
0:56:12	薄片との比較ということで126127。
0:56:17	あたりの見開きで
0:56:20	確認させてください。
0:56:23	で、
0:56:27	まずですねこの、
0:56:30	不連続箇所と比較っていうところなんですけれども、
0:56:37	ここに書いてあるのは、
0:56:41	Y面は途切れるけれども、
0:56:44	そこが、
0:56:46	R盤面に乗り移って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:50	せん断、
0:56:51	とか、動きがそっち乗り移って、
0:56:55	それでまあ、
0:56:57	全体と示してみれば続いているというような、
0:57:00	そういった形の説明をされてるってことで、
0:57:04	よろしいですか。
0:57:07	はい。北陸電力津守です。はいカイダさんおっしゃられた通りでして、 Y面、
0:57:12	Y面としてこの平行に南條も見えているものの連続性ということで不連続に見えているという解釈では書いておるんですけども、その間にある場面がありまして、こちらに乗り移るような形で、
0:57:25	続いているというふうに解釈してございます。以上です。
0:57:32	はい。規制庁のカイダです。
0:57:35	わかりました。
0:57:37	ちょっとそのあたり、もう少しこう、126ページなり何なりで、
0:57:43	書いておいていただきたいなと思ひまして、
0:57:47	Y面が不連続になって、そこ、Rは面がありますっていうその事実関係は書いてあるんですけど、
0:57:54	その
0:57:54	全体として見たときにそっち乗り移っているような形なんだと、やわい面は途切れてるけど、
0:58:01	動きみたいなものは、
0:58:03	続いてんだっていうことであれば、そういった説明を、
0:58:07	わかりやすく、その観点かと思うんですけど、付け加えておいていただきたいと。
0:58:13	思いますので、よろしく申し上げます。
0:58:18	はい、承知いたしました。
0:58:20	はい。
0:58:20	規制庁の甲斐です。引き続きですね、
0:58:24	例えば、
0:58:27	他にも途切れてるところもあるんですけども、
0:58:32	151ページ。
0:58:37	とかですかね、
0:58:45	151ページの上の方は、
0:58:48	今報道しちゃったような他のせん断、複合面構造。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:56	に今乗り移っていると。
0:58:58	ということかと思うんですけども、上ってというのは
0:59:02	この写真でいうと切れた箇所が上と下2ヶ所あって、上の途切れた部分 というのはそうかなと。
0:59:10	で、下の方は、これは結局、
0:59:14	同じじゃないと思うんですけども、
0:59:17	これはどういう、
0:59:19	これも含めて、
0:59:20	全部が全部ある場面とか乗り移ってるわけでもないと思うんですけど他 の部分はこういった説明をされるのかちょっと確認をさせていただきたい んですが。
0:59:32	はい。北陸電力津守です。この151ページ、こちらはですね、大坪ダム 右岸付近で、3ヶ所露頭から薄片を作成して、お示ししておりますその 中の、
0:59:45	不連続箇所の比較という形で、151ページに整理しておりますけれど も、
0:59:50	この露頭の件につきましては、風化変質の影響非常に強く受けておりま して、XRD分析でもハロイサイトと検出されておるといことも踏ま えまして、151ページの上の四角の3マル目ですね。
1:00:02	こちらに書いてあります通り、ハロイサイト等により不連続となってい ると。
1:00:07	ということも書いてございます。で、この五藤の薄片につきましては、ど ちらかというところある場面というよりも、このハロイサイトによる不連続 というのが、メインかなというふうに考えて、
1:00:18	おります。ただその中でもいくつかある場面を見ますと、この151 ページの右下のように、
1:00:26	外面の不連続箇所にR場面が見えると、そういったものもございませ けれども、今河田さん言われましたこのP u b l i 1ページの下 の右下のところ、例えば以外の、
1:00:36	不連続なところにつきましては、ある場面観察できておりませんので、 この辺りにつきましてはハロイサイトか全員カルサイトの生成によっ て不連続になったものかなというふうに考えてございます。以上です。
1:00:49	はい。規制庁のカイダです。
1:00:52	今おっしゃったハロイサイト2より不連続となってるっていうのは、
1:00:58	風化によって、その貼る際とかしましたっていうところは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:03	今まで何度かお聞きしてるんですけども、
1:01:08	ハロイサイトにより不明瞭になってるっていう意味としては、
1:01:14	もともとあったものが置き換わっただけなのか。
1:01:19	ハロイサイト。
1:01:21	が何か後からこう隙間にこう充填するようにはできたというか、そういった形で、
1:01:28	ハロイサイトが後から生成したのか。
1:01:31	それは今、これはどっちになってるんですかね。
1:01:41	北陸電力津守です。
1:01:44	風化変質というところでももちろん後からの水の供給というところを、
1:01:48	もう大きく作用しておると思いますので、大きかった部分もあると思いますけれども基本的には
1:01:54	面ができたところを埋めるような形で払う制度ができてきた。
1:01:58	もともとこのせん断面がないところにもハロイサイトというのが生成されておりますので、そういったところが大きかった部分もあるかなと思いますし、後からの供給によって埋めるように、精製したというそういう、
1:02:09	いずれもあるのかなというふうには考えております。以上です。
1:02:16	はい、規制庁のカイダです。
1:02:18	はい、わかりました。
1:02:21	何パターンかあるけれども実際間とかにも埋めていったと。
1:02:27	で、
1:02:29	不連続面っていうのは終わりとあるんですけどもその蓋パターンというので、
1:02:35	網羅的に見た結果そのふたパターンだったということなんでしょうか他のパターンというのがありますか。
1:02:44	はい。北陸電力坪井です。他に、基本的にはいずれ今お話したパターンかなというふうに考えてございます。以上です。
1:02:55	はい規制庁のカイダです。わかりましたじゃ、
1:02:58	ちょっとですねその辺りがなかなかこう、
1:03:02	わかりづらくてですね、資料を見ていると、この薄片ではこうでしたっていう形では書いてあるんですけども、まずは、この途切れてる。
1:03:12	ところの途切れてるっていうのは、こういった形で途切れてますっていう、それはこの二つですみたいな形を最初に、
1:03:22	今説明した上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:25	そのあたりの話を詳しく、後ろの方で説明するっていう、事実関係を写真とかで示すっていう、
1:03:33	方がわかりやすいかなと思うんですけども。
1:03:40	ちょっとその辺、ちょっと資料の書き方等工夫していただけますでしょうか。
1:03:51	北陸電力藤田です。すみません
1:03:54	不連続箇所、ここについてですね、少し説明が不足する部分ありますので、しっかり今二つの成因について、どちらなのかというのを書くのと、それをまとめたような形で、
1:04:06	考え方なり書、解釈我々こうしてるっていうところを最初にしっかり述べた上で、そういった資料構成に変更していきたいと思います。
1:04:15	以上です。
1:04:18	すみません、今の不連続のところに関連で確認させてもらっていいですか。
1:04:25	規制庁の名田ですけど、そのふたパターンしかないっておっしゃっていたんですけど、例えば、資料の 133 ページ。
1:04:35	真ん中の下のスケッチ、これ左側に不連続箇所とあるんですけど、特にその下の箱書きの中では、単にその不連続箇所が認められるというだけで、
1:04:45	特にその r 盤面とか、ハロイサイトの下、記載がないですし、同様に 137 ページ。
1:04:53	これも
1:04:54	真ん中の下にスケッチがあって、不連続箇所ってのが一番左にあると思うんですけどここも同様に、ある場面とかハロイサイトの記載がないんですけど、
1:05:05	これはどう整理されてるか確認させてもらっていいですか。
1:05:10	はい、北陸電力スモリです。
1:05:13	151 ページの位置付けとしまして、
1:05:18	この大坪川ダム右岸付近の露頭と言うんの、
1:05:23	先ほど 3 ヶ所露頭があってそれぞれから薄片をつくったというふうにご説明いたしましたけれども、今、野田さんの方からご指摘あります 133 ページですとか、137 ページというのも、いずれも頭からつくった薄片になっておりまして、そのの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:37	各露頭での見つかったその不連続箇所の比較のまとめという形で位置付けて151ページに整理させていただいておりました。そこちょっとわかりづらかったですので、それぞれ例えば133ページですと、
1:05:49	ここの不連続というのは、
1:05:53	来年の末まで開口して、要は繋がっていない、もともと繋がっていたかどうか今の時点で開口してしまってわからないので、不連続になっているというふうなのが133ページでして、
1:06:04	137ページですと、今ご説明しましたハロイサイトによる不連続と、そういうふうに解釈してございます。こういうものを、151ページにまとめたと整理させていただいたんですけども、確かにそれぞれ、
1:06:16	不連続と書いてある中身がどれによって不連続なのかというところが、わかりわからないような主要構成になっておりますので、その辺りわかるように丁寧に記載させていただきたいと思います。以上です。
1:06:29	規制庁のノダですご説明ありがとうございました。そういった形で少し御社考え方は整理されていると思いますので、それをしっかり資料中に、
1:06:40	反映させて、各資料の整合性がとれるような形にしていただければと思います。以上です。
1:06:53	規制庁谷ですちょっと関連で確認したいんですけど、さっきのなんかY面の話を、Y面が不連続になる箇所があるっていうような説明してるんですけどこれは、
1:07:06	最新面であっても、Y面のうちの最新面であってもこういった
1:07:12	ハロイサイトで、
1:07:14	が入ってきて不連続になってたり、RONE。
1:07:18	RONEっていうのがあって、不連続になってたりとかそういったこともあるっていうような説明なんですそれとも、これは何か不連続になってるようなところは最新面ではないんだっていうような、
1:07:30	その辺がちょっと聞いててわかんなくて教えてください。
1:07:38	はい。北陸電力坪井です。
1:07:41	おっしゃいます通り今Y面というか切った値で書いておりますけれども最新面。
1:07:46	かどうかというところの書き分けは今資料上、しておりません。ですが岩谷さんおっしゃられたところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:52	なんですけども、RONE面ですとか、ハロイサイトによって不連続というふうになっているところを、そのY面というのは、耐震面ではないというふうに考えてございます。
1:08:02	このいずれの派遣におきまして、この不連続になっていない、要はR場面なり、ハロイサイトによって不連続になっていない概念というのが、くつ確認されていると。
1:08:14	というのが事実としてありまして、
1:08:16	最新面というものが、今、
1:08:19	連続的に監査される不連続箇所がない、Y面につきましては、いずれも最新面の可能性があるものというふうに考えておりますので、先ほどの谷さんのご指摘を、
1:08:29	下に回答いたしますと、ハロイサイト等ある場面等によって不連続になっているものは、最新面ではないという評価をしてございます。以上です。
1:08:42	はい谷です。お考えは、ちょっと確認できました。ちょっとそういう目で資料見てみます。
1:08:52	規制庁のカイダです。引き続き確認させていただきます。
1:08:57	藤福浦断層のどの比較っていう観点で、
1:09:02	もう、
1:09:04	一つの観点 153 ページ以降の、
1:09:09	検討内容なんですけれども、
1:09:12	153 ページ。
1:09:15	間違いがありますと、敷地内と活断層の福浦画像で違いありますというところで、
1:09:22	一看すると、
1:09:24	最新面というか今のY面を
1:09:27	粘土鉱物が横断しているような状況が、
1:09:30	福良断層でも見え見える。
1:09:33	だけどその中には、
1:09:34	せん断面、粘土鉱物の配列が認められるという説明かなと思います 153 から 155 ぐらいですかね。
1:09:45	ここなんですけど、ちょっと
1:09:48	資料構成の話かもしれませんが、153 だと左 30 度回転のところ。
1:09:56	だとわかりやすいというお話で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:59	確かに見ようによっては何かこう、そこに口銭みたいな、配列という か、
1:10:05	ものも見えなくもないような、見えるようになっていう形で、
1:10:10	具体的にですね。
1:10:12	ここのこの部分だっというところをちょっと、示していただきたいな と。
1:10:19	これ見ようによって人によって見方が違うので、いやこうなんですよっ ていうところ。
1:10:24	中に、
1:10:25	このページでもいいですし別の、
1:10:28	ページをつけて、写真に補助線を入れるなり、
1:10:32	あと、もうちょっとポンチ絵みたいなというか、
1:10:38	略図みたいなのかい、書くような形で、
1:10:41	ここにはこういった形で、
1:10:45	粘土鋳物の配列せん断面っていうのはこういうふうに見えてますって いうのを、
1:10:49	わかるように示していただきたいなあと思いますこれ 153 ページも、
1:10:55	そうですし、
1:10:57	150
1:10:59	5 ページは、
1:11:01	多分別のところ、
1:11:03	なんですけれども、これも
1:11:05	155 ページも、
1:11:08	確かにこの部分が書かれてて、
1:11:12	直線的に粘土鋳物の模様になってるっていうのは、
1:11:16	ここのことかなあというのはわかるんですけども、これをもうちょっ とこうわかるような形で示していただきたいんですが。
1:11:24	衛藤。
1:11:25	次によろしいでしょうか。
1:11:29	はい。北陸電力坪井です。
1:11:31	河田さんおっしゃいました通り、今 154 ページの 155 ページというの が、153 ページに示しているところの拡大になるんですけども、楕円 で、この範囲で見られるというそういう示し方しかしておりませんで、
1:11:44	確かにそのピンポイントでここだという示し方はできておりません でした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:49	ですので解釈線等ですね、例えば横に過失あり過失なしというの写真を並べて、片方にこの線ですよというのがなぞるような形で、
1:11:59	客観的に見てどれを指してるのかというのがわかるような示し方を今後させていただきたいと考えております。以上です。
1:12:07	はい。規制庁の甲斐です。そうですねこのちょっと資料見て、その辺りはわかるように、
1:12:15	丁寧に説明をお願いしたので、よろしくお願いします。
1:12:19	で、
1:12:20	そこですね 153 から 155 ページのこの話なんですけれども、
1:12:26	これもまずまさにその
1:12:29	例えば、
1:12:32	どこかな。
1:12:33	今日の資料でいきますと、
1:12:42	どこでもいいかな。
1:12:45	100、81 ページ。
1:12:49	81 ページ等で、
1:12:56	ここはせん断面じゃなくて、
1:12:59	割れ目ですと割れ目沿いに沿って生成した粘土鉱物、
1:13:05	額細長く、
1:13:07	白いのが見えてますと。
1:13:10	で、確かに 81 ページの方にはそういうふうな、
1:13:14	に見えるんですけれども、
1:13:17	これとさっきの 150、何ページとかの、
1:13:22	違っているのが、
1:13:25	見た目なんていいですか細長く、こういった粘土鉱物が生成してて、ちょっと割れ目があるってというようなところは、
1:13:34	実験する等、
1:13:37	そっくりなんですけども、
1:13:39	これは、
1:13:41	顕微鏡で見ると、
1:13:42	違うということであれば、どのあたりがどう違うかっていうのは、
1:13:47	うんわかるんでしょうか。
1:13:51	はい。北陸電力スモリです。81 ページの白い終わりに沿って生成した粘土鉱物というふうに表示しておりますけれども、こちらですね、最終年

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	度、全然違う方向に同じようなものがあるというのも一つなんですけども、
1:14:05	この
1:14:06	現状のこのもの自身を見てもですね、本当に局所的に非常に連続性のないポイントだけ見えるような、
1:14:13	この
1:14:14	81 ページの範囲で収まるような、
1:14:18	程度の連続性しかないものになっております。
1:14:21	一方ですね、例えば 155 ページ。
1:14:24	なんか見ていただいて、1154 の間で 154 ページ見ていただきますと、
1:14:29	この楕円の範囲ですね、
1:14:32	ずっと続くような、この範囲を抜けてもですねちょっと今範囲は、写真では示せておりませんが、さらに上の方まで、このように連続してずっと続いて、同じような粘土の配列が見えると。
1:14:44	いう点がございます。
1:14:45	なのでやはり、せん断面であれば、そういうふうと同じような配列が、ある程度流さ連続して続くというふうには考えられますし、先ほどの 181 ページなんかですと、まさにその
1:14:57	割れ目がなかった。
1:14:58	ない部分については、生成し、そういう形ができえないと。
1:15:03	いうところで、部分については、その分布なり連続性というところも考慮して、その分布、連続性というところを、これを顕微鏡で見れば、よりわかるかなと思いますし、資料でもそのあたりがですね、わかるように、
1:15:15	詳しい説明を加えたいなと考えてございます。以上です。
1:15:21	はい。規制庁の甲斐です。わかりましたそのあたり今私が申し上げたような形で一見すると違うように見えるけれども、こういうふうに、
1:15:31	やっぱここはせん断面なんだというところは、ゆくゆく説明されると思うんで、その辺、
1:15:38	留意して、資料作っていただきたいなと思います。
1:15:42	今の説明だと、
1:15:44	154 ページ 155 ページんりの説明っていうのは、
1:15:52	書いてある内容。
1:15:55	自分は、
1:15:56	下に箱書きとかはあるんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:00	せん断面が認められるというふうな、
1:16:04	の意味っていうのは、
1:16:05	実は、ここは粘土鉱物が横断してなくて、ここに、
1:16:11	Y面がずっと続いてますっていうそういった説明になるんですか。
1:16:18	保育電力つもりです。はい。その通りでございます。そういった評価をしております。
1:16:23	はい、わかりました。規制庁の甲斐わかりましたじゃ。
1:16:27	そうですね。一見するところ。
1:16:30	横断してるように群脈が横断してるように見えるけども、
1:16:35	粘土鉱物の配列が認められる。
1:16:38	だけだと、っていうふうにもなりますけれども、
1:16:42	よく詳しく見ると、そこはずっとY面、せん断面があるんだっていうところは、
1:16:49	そそうなんであればそういうがわかるような形で
1:16:53	今後表現をしていただきたいので、よろしくお願いします。
1:17:04	あと、すいません規制庁甲斐です。
1:17:07	153 ページをお願いします。
1:17:15	今の比較で、
1:17:17	これはちょっと滯りによってはっていう形なのかもしれないですけど、
1:17:23	上のS、敷地内断層、S2S6の一番、
1:17:30	右側かな、右側、加茂もしくは右側。
1:17:34	から2番目の、
1:17:37	写真なんですけど、
1:17:39	これもなんか目を凝らしてみると、
1:17:42	細井。
1:17:44	白い線がちょうど緑の矢印の間をこう繋がってるようにも、
1:17:49	見えなくもないんですけど、
1:17:51	これは、
1:17:53	何なんですかね、やっぱりここはそう見えるだけです。
1:17:59	何かY面が繋がってるっていうわけではないという、
1:18:02	そういう説明なんですけどこの白い線は、ちょっと
1:18:06	見えるように、
1:18:08	写真上見えるんだけどこれそういうそういうものはないんだっていうことでよろしいんですかね。
1:18:15	グループ電力様です。こちらですね、もともと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:20	やはり製品としましてもともとここにはせん断面があってそれを品質によって不連続にしたというそういう解釈をしておりますので、今、深谷さんおっしゃられたのかな、おそらく同じものを見ると私も思うんですけども、細井。
1:18:32	所これはもともとあった、もともとここで動いていたであろう年がハイライトされたような場所かなというふうに思っております。
1:18:40	ただですねその周辺のピンクの楕円等で囲っておりますけれども、もともとあった最新面を埋めるように粘土鉱物ができて、そこから繋がるように斜交して、粘土鉱物の脈が見えると。
1:18:51	そういったところも観察されておりますので、こういったところも含めて、
1:18:58	弱い面が連続するものではないという評価をしております。そういった意味でのこのピンクのラインの部分、今回、
1:19:06	注釈のような形でお示ししているという形でございます。以上です。
1:19:12	はい。はい。規制庁の甲斐ですわかりました。
1:19:16	なんか一見すると何かもうちょっとこうこういった線がないようなやつの方が比較対象として、
1:19:22	わかりやすいのかなと思ったんですけど、そうではなくて、
1:19:26	そういった線がもともと動いてた面がありつつも、さらにそれを横断している。
1:19:34	ようなものができてるっていうのを示したいがために、今、
1:19:38	これを比較対象と。
1:19:40	して、今、示してあるという。
1:19:42	いうことかなと思いますので、その点、
1:19:45	承知しました。
1:19:49	はい。
1:19:54	ええ。
1:19:55	北陸電力藤田です。はい。はい。以前の審議の中でこの写真で少しそういったコメントをいただいた関係もあってですね。
1:20:03	ここの写真を用いたところがございましたけども、
1:20:06	単純な比較っていうことであればもう少し説明性、
1:20:11	これはこれでしっかり説明できてると思うんですけど、そういうわかりやすいっていう。
1:20:15	観点でどちらがいいのか少し、検討させていただきたいと思っておりますけどもいかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:21	はい規制庁の甲斐です。規格対象としては、
1:20:27	そちらの
1:20:29	検討でまた検討していただいてよろしいかなと思いますんで、
1:20:34	今ここで何を比較したいかっていうと、そこにはせん断面がないんですよっていうのの対象として、今、示してあるけれども、
1:20:45	よく見たら線があるように見えるなっていうふうにはちょっと気になったので、ちょっと確認させていただいたままで、
1:20:53	もうそれをさらに横断してくる違うものがあるって、
1:20:57	ということで、もう説明をちゃんとされるのであれば
1:21:01	特に内容としては、私どももわかるかなと思いますので、そこら辺も含めて、何を比較対象とするかとか、
1:21:10	これ、ほかの別のものもつけるかっていうところはまた検討いただいて結構です。
1:21:18	藤田です。説明の目的も踏まえてしっかりわかりやすい資料に1人を検討したいと思います。以上です。
1:21:42	規制庁タニズ、ちょっとあんまり本質的な話じゃないかもしれないですけど、15ページで、
1:21:52	金利のところって、
1:21:55	経路とA地点っていうのがですねこれ書き方、この評価結果っていうのが、
1:22:01	前から変わっているっていうことなんですけど、これって何か今日説明あったんですっけ。
1:22:18	あ、はい、北陸電力の木村です。
1:22:20	経理の怒濤A地点とKさんの露頭A地点と、2ヶ所ありますけども、これ、どちらも共通でございまして、
1:22:31	共通の事情がのみ、
1:22:34	確認できております。その説明としましては、
1:22:39	(3)の計算の資料、
1:22:41	になりまして、
1:22:53	規制庁谷です全く同じ時点のお話をしてるからこれも変わったってことなんですかね。
1:23:00	197ページ以降に、計算のA地点の
1:23:05	データを示しておるんですけども、K2のA地点というのはまた別の地点でございまして、ここでも、
1:23:13	同じ状況を確認。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:16	していると。
1:23:18	ということから、どちらの記載を、
1:23:23	わかりやすく修正を、紫色でしております。
1:23:31	規制庁谷井です。
1:23:34	条件はわかったんですけど、経緯のH. っていうのは資料で、ごめんなさい今何ページって言いました。
1:23:51	これ計算のA地点ですよK2のA地点っていうのの説明はどっかにあればいいと思うんですけど、その評価は困難。
1:24:02	感じなんですっていう評価、いいと思うんですけどそれってあるんですかっていうところなんです。
1:24:07	すいません北陸電力木村です。171 ページお願いします。
1:24:14	171 ページに計算の
1:24:20	A地点というのと、経理のA地点というのと、
1:24:24	ちょっと二つ並べて、
1:24:27	薄片研磨編のデータを並べているページがございます。
1:24:37	こちらで計算統計に、どちらも同じように破碎流動の所。
1:24:45	再流動するという状況が見て、
1:24:49	取れると、いうことを確認しているというデータをつけております。
1:24:53	ちょっと経理にも、位置図と、
1:24:57	いうものを、わかるものをつけておりませんでしたので、ちょっとそのあたりわかりづらくて申し訳なかったと思いますが、
1:25:07	データの方はこちらの方につけておまして、K2 計算とも、
1:25:14	同じように、火砕流等が確認されたと。
1:25:18	ということでございます。はいタニです資料の方見ときますけど、ここ変えたのはこのページにありますよっていうのがわかるようにですね、資料上していただけたら。
1:25:28	今の質問も解決するのかなと思いますので、
1:25:32	お願いします。
1:25:35	いいですかねはわかりやすくしてくださいっていただけなんですけど。
1:25:40	はい。資料の方、ちょっとわかりやすく、ページの引用等、記載するよういたします。
1:25:45	以上です。
1:25:48	規制庁の野田ですけど、今の谷さんのコメント、わかりやすくということとで多分大丈夫だと思うんですけど、念のため、こういったところでし

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	たっけ 15 ページ、15 ページのこういう活動性評価結果っていう一覧を、
1:26:03	この修正を加えるのであれば、それは、
1:26:05	先ほど 171 ページとか 172 ページのご説明があったんですけど、どういうこれ結論と書かれてないですよ実際に、
1:26:18	ちょっとすみません 171 ページと 172 ページを見て、記載が、計算と経理で同じ修正が加わるっていうところがちょっと理解できないでもう 1 回ご説明いただいていいですか。
1:26:32	もしくはそういったところがわかるように修正してもらえれば、
1:26:36	適正化資料の適正化を図ってもらえればと思うんですけどいかがですか。
1:26:42	はい。北陸電力の野原です。
1:26:44	今ほどの
1:26:47	オオイのデータが一部出てますが、それに伴いまして 15 ページのほう評価結果経理の方も併せて修正しております。それに合わせたような経理全体の評価として、
1:26:59	取りまとめた、そういったものが今回の資料をつけてございませんでしたので、
1:27:04	そういったものも、改めてつけて、そういった
1:27:08	今回の資料のどのようにな変わったかってのがわかるように、そういった形につきましても、活動性評価のまとめ、そういったものをつけてわかるように、修正したいと思います。
1:27:17	以上です。
1:27:22	荒谷です引き続きなんですけれども、
1:27:26	8 ページ、さっきなんかちらっと話ありましたけれども、
1:27:30	これ敷地内んし、8 ページのところ敷地内断層は、
1:27:36	Y 面の不連続箇所周辺にその他の Y 面は認められないというこれ、何か 1 点だけ、何かここで出してるようで、他のず薄片っていうのはすべからブック確認して、
1:27:50	こういった状況だっていう説明なんですよね。そう。そうであればですね、全体も確認してるっていうのがわかるような記載にした方がいいかなと思ってるのと、
1:28:00	あと本当にこの Y 面が、
1:28:04	他の地点、何て薄片を見てって、不連続箇所周辺にその他の Y 面が認められないっていうのを、僕らはこの資料、これまでの資料で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:14	確認できるようなデータってつけられてるのかな例えば、今までの薄片でY面っていうのは、すべからくこう抽出できてて、
1:28:25	それが、どこの薄片見てもないんですよっていうのが確認できるようなデータは出ていますかっていうのを確認させてください。
1:28:37	はい。北陸電力津守です。まず1点目の全体を見た上でこの評価というところはその通り見ており、見た上での評価ですので、わかるように書かせていただきたいと思います。
1:28:48	2点目ですけども、例えば27ページをお願いします。
1:28:55	こちら27ページK2の1-1.1-87こちらを例にご説明いたしますけれども、こちら、26ページには過失なしで27ページには、最新ゾーン中で、
1:29:07	Y面にあたる年1とここではネーミングしてますけれども、Y面に当たるものを、
1:29:13	ここで止めているというところをトレースしたものを、27ページのように書いてございます。
1:29:17	今回効率よく法の評価に使ったものについては、すべてこのような過失ありなしという形で、面をトレースしたものをつけてございますので、チェックいただけるような資料はお付けしているというふうに考えてございます。
1:29:30	以上です。
1:29:31	はい規制庁タニです。今の説明でいうと、Y面っていうのは、年1年にとかそういう形で、すべて拾われてるっていうことでいいんですか。
1:29:43	グループ電力スモリです。はいその通りでございます。
1:29:47	タニです多分ねその辺のところはね、わかんないですよ、Y面っていうのは全部。
1:29:55	面1=Y面なのかって言うとその辺の繋がりがちょっと資料上わからなくてこういった質問になってるのかと思ってて、まだ事実関係としては確認できました。
1:30:10	だからちょっとその辺の関係を、
1:30:13	Y面っていうのは、面一面2とかで抽出されているんだっていうのはどっかにこうわかるようにしてもらったらいいかないかなと思いますけど、いいですかね。
1:30:24	はい。北陸電力質問です。はい、承知いたしました。例えば、26ページなんかで、矢印で年1って書いてますけれども、これ、市、お示しの仕

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	方をちょっと検討させていただきますが、例えばこの矢印はワインを示しているというのを各ページ、各ですとか、
1:30:40	最新面の先ほどご説明しました、抽出の中心にすぎません。最新面の認定の考え方のところに、Y面として抽出しますよとかそういった、わかるような書き方をするように、今後修正させていただきたいと思います。以上です。
1:30:54	井谷ですお願いします。
1:30:56	あとはですね今回8ページでも書いてるんですけど、Y面の不連続、8目は、8ページのこの福浦断層の説明のところを書いてるんですけど、
1:31:08	不連続箇所でRONE、RONE面があって図、ずれているとかステップしてるというか、Y面が不連続になっているっていう説明なんですけど。
1:31:19	これを踏まえて、これまでの、何て言うんですかね、
1:31:24	評価してきた薄片でおんなじような状況が、
1:31:27	なかったんですかっていうのは、それを確認していますか
1:31:32	要するに、これまでの薄片も、最新面が不連続、
1:31:37	になっているとかそういった記載があったと思うんですけど、その中の一部にこういったこともある、あったんですかなかったんですかっていうのは、
1:31:46	それは大丈夫なんですかね。
1:31:50	クリープ電力スモリです。それも例としまして30ページ、お願いします。
1:31:57	こちらも経理のH1.1の87項の最新面1、
1:32:02	鉱物脈評価地点になりますけれども、ここ0でご説明しますと1マル目ですね、
1:32:09	粘土鉱物が最新面位置を横断して分布し、最終路が不連続になっており、不連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形は認められないと。
1:32:18	ここで要はP面ある場面も含めて構造が、この不連続箇所がないというのをしっかり確認しております、このように明記させていただいておりますので、
1:32:29	光沢として評価しておるものは、いずれも、先ほどのようなある場面というふうに対応するようなものはないというふう、評価してございます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:38	規制庁タニ有するここで、ここで呼んだらいいんですねせん断面やせん断面が認められないっていう、ここが書いてあるってことは、ある一面とか、そういったものも間に入ってないんだよっていうのを、
1:32:49	もうすでに説明してるってことでいいんですかね。
1:32:53	P L U G 電力スモリです。はい。そのような考えで書いてございます。以上です。はい。確認し、わかりました確認してみます。
1:33:04	あとはですねちょっと話飛ぶんですけど、197 ページで、
1:33:10	Kさんの最新ゾーンは、破碎流動が認められる固結した破碎部から成り負圧の小さな共鳴地下深部で形成されたものと判断されるっていうふうなこと。
1:33:22	が書かれてて、何かどうやらこれって、活動性評価にこう使ってる言葉なのかなって思うと、
1:33:30	何か作ってはいないってことなんですよね。で、それが多分 206 ページだとか、
1:33:38	最初の何ページだとか、
1:33:42	15 ページとかを見ないと、
1:33:46	これがその活動性評価の根拠になっているのかどうなのかっていうのが何かよく分かんなくて、
1:33:54	これ、
1:33:55	おっしゃる根拠にはなっていないってことなんすよね。整合するんだっていうことの一つとして挙げてるってことなんですけど、そこは何かこの、
1:34:05	197 の中で、
1:34:10	根拠にはしてないってというのはわかるような記載って、
1:34:14	してもらった方がいいんじゃないのかなと思って、何かあたかもこの文章だけを見ると地下深部だから、活動性を否定している根拠なのかなってちょっとってしまったところがあって、
1:34:28	根拠ではないんだったら生後、
1:34:33	整合的であることとして、選んでるんだったらそういった記載にしてもらったらいいかなど。
1:34:39	思いました。
1:34:42	北陸電力の一緒です。
1:34:44	谷さんおっしゃるようにこの破碎流動による活動性評価に関しましては、
1:34:50	他の i s 混合層による評価と比べまして、定量的に時代性を今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:57	確実な評価ができていないというところで、
1:35:00	他の
1:35:01	まとめのページのところでは整合的と整合的なデータというような扱いとさせていただいている。
1:35:07	ただ 197 ページでは確かにそういったところを読み取れないというところがありますので、この 197 ページの中でも、そういったことがわかるような書き方に修正したいと思います。
1:35:18	以上です。
1:35:19	木谷ですお願いします。
1:35:22	今野と規制庁の野田です。今のところの関連今野タニさんの確認との、
1:35:31	関係なんですけども、どうも関連することなんですけど、例えばその 11 ページの下の箱書きだと、
1:35:39	こういった形成環境から推定した活動表性評価、整合するが、またってなってるんですよね。
1:35:46	他方で、
1:35:47	206 ページ、ここも同様に、下に計算の評価あったってここはなおになってるんですよね。
1:35:54	ここは、
1:35:56	御社がこの
1:36:01	形成環境から推定した活動性評価。
1:36:06	なのかな。について、
1:36:10	こういった位置付けになってるのかっていうのを明確にしてもらいたいん。
1:36:13	ですけど、いかがでしょうか。
1:36:18	北陸電力の伊佐です。
1:36:20	宇田さんおっしゃられるようにちょっと書き方が統一されていないというところで、我々の方針というところがちょっとぶれて読めるというところもありますので、こちら、
1:36:30	統一した書き方に修正させていただいて、我々の方針がわかるような書き方にさせていただきたいと思います。以上です。
1:36:41	はい。規制庁野田ですよろしくお願いします。
1:36:54	どうぞ。
1:36:56	規制庁のカイダです。
1:36:58	ちょっと真似をやっていうわけでもないんですけど 8 ページを、
1:37:06	確認いただいて、これ後ろの 150 何ページの方で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:12	これからゆくゆくは、先ほどもあったんですけど、
1:37:16	あと途切れてるっていうところの考え方っていうのはふたパターンありますというのをちゃんと示した上で、
1:37:23	こうなんですよっていうのはそういった資料構成されるっていうことでもお願いしてますけれども、この8ページも一緒に、
1:37:32	この資料見た時にこれは、最初から見ていったときに、ここでまず
1:37:37	途切れてるやつっていうのは、Y面がある場面とかに乗り移っている。
1:37:42	そういったものを、
1:37:43	形で、途切れてます。
1:37:46	ていうような、
1:37:47	のがまず頭にこう入っちゃって、
1:37:50	で、
1:37:51	後ろを見てみるとまた違うパターンもあるというかそうじゃないのもあるっていうところで混乱するんで、
1:37:58	この8ページもちゃんとその
1:38:00	下に※書きでハロイサイトで不連続になってるっていうのもあるんですけど、
1:38:05	同列。
1:38:06	のような扱いにさせていただいて、こういったのとこういったので、不連続になってるところ、ことが確認できるという形で
1:38:16	ここもちゃんとそういった形の作りをしていただきたいので、
1:38:21	よろしくお願いします。
1:38:26	はい。北陸電力の野原です。承知しました。そのように資料の方を修正します。
1:38:31	はい。規制庁甲斐です。
1:38:35	あと何点か確認なんですけれども、
1:38:44	158 ページ。
1:38:48	今の計算の話で、
1:38:52	158159 ページ。
1:38:56	あんま、
1:38:57	どっちでも、159 ページの一覧表の方がわかりやすいかな。
1:39:02	と計算というのは固結した破碎部しかありませんと、他のものは粘土状破碎部を介在してますと。
1:39:09	ということなんですけれども、
1:39:12	計算が固結した破碎部から成るつまりもう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:17	他はそうじゃないけどこれは固結してるんだっていうところの、
1:39:21	どういうふうに、何か、
1:39:24	うん、決めたというか、
1:39:26	評価したのかっていうのを、
1:39:28	ちょっと確認したいんですけどもこれ何かこう、
1:39:32	針貫入なりなんなりそういったので評価したのか。
1:39:36	見た目とか、こう手で押さえたときに、これは固結してるんだっていう、
1:39:42	口頭で評価されてるのか、今まで、今回、どうもその辺の資料はないと思うんですけどこの前提となる固結してる。
1:39:50	と、そうじゃないっていうところは、何か今までには何かデータっていうのが示されてたんでしょうか。
1:40:00	北陸電力の石田です。
1:40:02	まず、ボーリングコアレベルのお話をさせていただきますと、こちらに関しましてはコア観察の際の目視観察、
1:40:10	ですとか、その時の
1:40:15	硬さ
1:40:16	の基準ですねコーナーの判断基準にしたがって、固結しているか、粘土かもしくは砂地を角礫状というところを決めております。
1:40:26	例えば露頭、
1:40:28	161 ページの上の露頭写真ですと、今回おつけしていませんけれども、こういう露頭では、全線固結していると。
1:40:38	いうことを針貫入試験も含めて確認しております、周りの母岩と比べても、
1:40:44	ほぼ変わらない硬さであることを確認しているデータを、以前までつけておりました。
1:40:53	今回、その辺までおつけしていませんが、その辺も少し、この固結しているというデータの補強になると思いますので、その辺もちょっと整理して、お付けしたいと思います。以上です。
1:41:04	はい規制庁のカイダさんわかりましたつけるか、いついつの資料何ページにちゃんと示してますっていう形でもいいので、これは他と違って固結してるっていうその根拠っていうのは、
1:41:17	示してわかるようにしておいていただきたいなど。
1:41:21	思いますのでよろしく申し上げます。
1:41:24	あと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:27	どこだったかな。
1:41:31	200、
1:41:35	196 ページ。
1:41:41	196 ページに、
1:41:47	お歴々っていうかがん編の中にもちゃんと粘土鉱物が入り込んでてそこが動いてないっていうのは、証拠ってということで、二つほど示してあるんですけども、
1:42:01	これ
1:42:03	ほかにも何かあるんですかね、見たところそうじゃそうかなっていうなところもうん見えるんですけども、
1:42:11	こういうのが、
1:42:12	この2個だけじゃなくて、全体にいっぱいあるっていうことなんでしょうか。
1:42:20	北陸電力スモリです。今からおっしゃる通りでして、これの代表として今、起点、スケジュールも含めて、お示ししておりますけれども、他にも同じように、
1:42:31	脈状に顔面の中に入っているような地点というのは確認、観察しております。
1:42:39	はい。規制庁甲斐です。わかりましたですねこういったスケッチまでは作らなくてもいいかとは思うんですけども、
1:42:47	この、ここにもありますここにもありますっていう、こうなんですかね。
1:42:55	全体にわたってこういうのがいっぱいあるんだっていうのが、
1:42:58	これは今回この全体が網目状とか、
1:43:03	変質を受けて動いてないんだっていう説明なので、2ヶ所でもいいんですけども、そういった行為にここにあるようなものが、
1:43:15	こっちからこっちまでは、全体にわたってあるんだっていうところを示していただく意味でも、
1:43:21	こういったものが至るところにあるんだっていうのが、視覚的にわかるような、
1:43:28	図なりをつけていただきたいんですが、そのあたり、可能でしょうか。
1:43:36	北陸電力スモリです。はい承知いたしました。何点かございますので、その写真をつけて、満遍なく全体にあるよというようなところをお示しできればと思います。以上です。
1:43:49	はい。規制庁甲斐です。では、その点よろしくお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:55	あとは、
1:44:08	規制庁タニです。今回ね薄片を2ヶ所で追加して観察して、反映っていう形で思うので、
1:44:18	鉱物脈法による評価結果っていうのを出してるんですけども、これって何て言うんすかねこういうところでして、
1:44:29	何ていう言い方悪いな。
1:44:32	こういった反映っていうところしか、その鉱物脈が横断しているようなところが、なかったんですかそれとも他にも幾つかあって、それ、それの何か見やすいところが、
1:44:45	選ばれたのが今の資料なのか、その辺のところをちょっと確認したくって、もちろんそのほかにもあるんだったら、
1:44:54	資料化していただけたらいいんだろうなと思いながらこういった質問してるんですけど、どうなんですかねほかにも何か横断状況って確認できましたか。
1:45:05	クリーブ電力スモリです。えっとですねやはり
1:45:10	以前から前、前回の現地調査等でもですね、やはりしっかり横断している脈状に奥まで分布してるというところが、評価として確実に使えるというところのご指摘もいただいております、
1:45:21	やはりそういったところを重点的に探してお示ししているという状況にはなっております。
1:45:26	ですが、その横断が少し甘いですとか、ちょっと空隙が目立ってほんとに横断してるか、わかりづらいという。
1:45:33	ところを、
1:45:35	は、そういう点はあるんですけどそういったものは、幾つかその同じ派遣の中でも見えたりはしております、
1:45:41	またその横断形状がやはりちょっと、
1:45:44	少しあんまように観察できたりですとか、そういったところもあるので、自信を持ってといいますか、こういうふうに出せるというところはやはりこのそれぞれの、
1:45:53	この時点かなというふうに考えております。
1:45:55	以上です。
1:45:57	はい規制庁タニです。あれですね、自信を持って、資料貸しして説明できるのはこの2点、2点になるよといういうことでもいいですかね。
1:46:06	それだとわかりました。
1:46:10	他に連絡済みですはい。その通りでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:51	私あるんです。
1:46:56	規制庁カイダですうちの中の話なんですけど、ニシキさん何かありますか気づいてる点あったら、ご意見いただきたいんですけど、何か、
1:47:07	お願いします。あります。
1:47:10	はい。規制庁の認識です。私も僕は本質的なところではないんですけども、
1:47:17	藤委員からうちもコメントがあったようなところっていうのところ少し確認したいんですけども、
1:47:24	佐々木山中にも高い干渉色を提出する鉱物があったということで163ページあたりから、
1:47:31	分析の結果っていうのを示して今回いただいているかと思うんですけども、これ自体で、いわゆる単斜輝石だと判断したというところは、いわゆる顕微鏡の工学的観察によって単斜輝石だというふうに判別されている。
1:47:46	ことだと思んですけど線で一応この化学組成を比較として載せられているところで、ちょっと先生とかは岩石学とかが結構ご専門なので、その辺ちょっと、
1:47:57	164ページのところとかで、CPXの比較とあと、それぞれ図られたPX01か04のところの格差というところで、
1:48:08	結構なんか鉄への、
1:48:10	薄片ではかられたものは、結構てい成分が多いんですけど、
1:48:16	比較資料のシート様鉄が少ないんですけど別にCPXであるから構わないんですけど、この辺少しキセキって結局鉄道マグネシウムとカルシウムの
1:48:28	3成分での雇用体でどういって、どういって組成をして、下へどういってんとか、そんな名前のキセキありますというふうにつけるのでここで何か血を外して何か。
1:48:40	どう書かれてるようなふうになんて読んでしまっ、これってちゃんと見てんですかって言われかねないかなと思うんですけど、その辺少し書きぶりとかを少し、丁寧にされた方が良くないかなというところでちょっとコメント。
1:48:55	長期になったところなんです結局れん石と、
1:48:59	とは違いますよってことを示されたいってことだと思しますので、この辺ちゃんとキセキってのはどういってんで、例えば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:08	傍聴席の方なんかは 167 ページで総想像といいますか三角ダイアグラムのところの中に実際落とされているところなので、奇跡のいわゆる奇跡の体系のダイアグラムとかがあるので、そういったものにちゃんとプロットされてる方が、
1:49:23	どういったものですよ、多分この化学組成見ると、
1:49:26	多分奇跡の中でも井藤 S E 腹痛奇跡っていう組成に落ちるのかなって気はするんですけど。
1:49:33	その辺、きちんとせっかくデータがされてるので落とされた方が、より丁寧じゃないのかなとはちょっと思いました先生からのコメントのところなんでちょっとこの辺、
1:49:44	企画課です。ちょっともったいないかなと思いますのでちょっと適正化の検討いただければと思います。私の方は以上です。
1:49:53	北陸電力津守です。はい
1:49:55	ありがとうございます今、井関さんおっしゃったようにこれをじゃあだと思っております、まだ、層相という意味で C P X というふうに代表で橘田書記というふうに書かせていただいておりますけれども、もちろんその鉄についても、
1:50:08	見た上で、力連石との違いっていうところで、この
1:50:13	三つの
1:50:14	またそれぞれのところの、ちゅ色をつけて、ここ比較という形で書いておりますけれども、その鉄とかも含めてちょっとそのお作法といいますかちゃんと、奇跡とはどういうものでっていうところもわかった上でちゃんと見てるんですよというところが、
1:50:27	せっかくデータ取りましたのでわかるように、大分見落とすとして、もう少しわかりやすく、丁寧に資料をお示ししたいと考えております。以上です。
1:50:38	規制庁ニシキです。よろしくお願いたします。もう 1 点だけちょっとこの軌跡に関して、ちょっと聞き逃したかもしれないんですけども、この破砕体の中に入ってくる。
1:50:48	この軌跡は、いわゆるその母岩の安山岩の中からの u d 結晶であるというお考えでよかったんですけどちょっと確認させてください。
1:51:01	ピーク電力スモリです。はい今、藤木さんおっしゃる通りに考えてございます。以上です。
1:51:07	はい。ありがとうございます確認できました。私の方からは以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:14	すみません、手短に。規制庁の野田です。手短に幾つか確認させてください。まず、見開きで4ページ5ページを開いていただければと思うんですけど。
1:51:25	5ページの下の方の箱書きの結論が、
1:51:30	最後日平均は認められないってなっている一方で、5ページの方ですね、4ページの方ですと、せん断面や引きずり等の変形は認められないって変形しか言及されていないんですね。多分理系の所、理系の人だったら
1:51:44	せん断面が変位ということで多分理解できると思うんですけど、こういったちょっとワーディングの使い方についてちょっと御社の考え方を、
1:51:53	確認させてもらっていいですか。
1:51:57	北陸電力津守です。今それ労働省ノダさんがおっしゃいました通り、変位変形という言葉が5ページを使ってますけれども、せん断面をその変位に対応するところ、
1:52:07	傷等の変形というところは変形に対応するということで、変位変形等、位置付けとしては同じつもりで使っています。
1:52:15	ただ、少し変形よりも、もう少し具体的な引きずり等の変形というようなちょっとことを具体的な
1:52:23	構造といいますかそういうのも加えた上で、今書いているところと、まとめたような形で併記して書いているところで、統一されていないところがございますので、この辺り少し、
1:52:33	統一といいます考え方が整理するような形で、整理させていただきたいと思います。以上です。
1:52:39	規制庁野田ですご説明ありがとうございました。多分
1:52:44	我々もそうですし御社もそうですけど、しかるべきタイミングでこういった我々の審査結果を主地元の方々にもご説明、説明しなきゃいけない場面とかもあると思うんですけど、
1:52:56	なるべくこういうところを、差し支えなければ、そういったワーディングの整合性とか、統一性ですかね、そういったところは、はかっておいた方が、我々も説明しやすいですし、
1:53:10	そういったの方々にも、ご理解いただけるんじゃないかと思います。これもまた同じ観点なんですけど例えば21ページ、
1:53:22	もう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:24	20 ページの右下ですかね、止まると、四角の説明があって、例えば 0 についてはこれ最新面を横断する鉱物脈に変位変形が認められないっていう書き方をしてるんですよね。
1:53:36	他方で、これは 5 月 20 日の 774 ページ、後で見えていただければと思うんですけど、例えばこういう 774 ページですと、主な断層活動と変位鉱物との関係のところは、
1:53:51	最新面が不連続になっており、不連続箇所の変質鉱物に変位変形が認められないっていうことで、特にここには最新面を横断するつまり横断とかいうワーディングが出てこないんですよね。
1:54:03	だからここはちょっとまず御社として、こういうその変形の、何ですかねそう決め台詞というか、判断根拠として、不連続を用いているのか、横断等を使っているのかちょっとまずそこを確認させてもらっていいですか。
1:54:21	はい、北陸電力スモリです。
1:54:23	まずこの言葉の使い方としましてですね、
1:54:32	例としまして、
1:54:35	30 ページを見ていただきたいんですけども、
1:54:40	こちらは 30 ページの 10 上の四角の 1 マル目に書いておまして、粘土鉱物が最新面位置を横断して分布した姫路は不連続になっており、
1:54:50	連続庄野千田粘土鉱物にせん断面や傷等の変形は認められないと。
1:54:55	ということで、先ほどの 21 ページのところの横断というところが、この分布形態のことを示しておまして、横断することによって、最終面が不連続になったと、そういう関係で、整理させていただきます。
1:55:07	そういう意味で、
1:55:09	その先ほど 21 ページと前回会合の 774 ページは、違うことを言ってるつもりはないんですけども、こちら先ほどのご指摘と同じようにちょっと言葉の使い方というところで、
1:55:20	誤解を招くようなことも、可能性もありますので、一応その辺りの言葉の使い方も含めて整理させていただきたいと思います。以上です。
1:55:29	規制庁の野田です。ぜひ整理していただければと思います御社の判断根拠として再指名を横断する鉱物脈に変位変形が認められないのか。
1:55:39	もしくは、不連続箇所の
1:55:42	変質鉱物に変位変形が認められないのか、そのあたりを明確にさせていただければと思います。
1:55:50	あとですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:54	これもしかしたらカイダさんがコメントしたかもしれないんですけどごめんなさい、133 ページ。
1:56:04	さっき少し粘土鉱物の配列の話があったかと思うんですけど、133 ページの右側の上ですかね単ニコルのところで、例えばここ、明瞭な引きずりの例って書いてあって、
1:56:18	すみません衛藤これだけだと、少なくとも私は明瞭な引きずりの例が、どこの何を言ってるか、理解できないんでちょっとまずご説明いただいでいいですか。
1:56:31	栗城電カスモリです。このメールの引き継ぎの例としてお示ししておりますのが、この左上から右下に伸びますこの黒い網これで黒いがん編は一つのがん編ですけれども、
1:56:43	これが左上から右下の方に伸びるような形状をしております。
1:56:48	これ通常ですとこんなふうな形をやはり普通はとりませんで、細部の中ですと角が取れて丸くなるですとか、浅井田仲でなければ門があるけども
1:56:57	ある程度楕円ですとかその 0 に近いようなそういう形をとることが一般的によく見られるんですけども、この場合その Y 面に対して斜交するような方向に、
1:57:07	細長く伸びているような、こういった観点の形状をもって、明瞭な引きずりというふうに考えてございます。以上です。
1:57:14	規制庁野田です。ご説明ありがとうございます。他方でちょっとここ、矢印で書かれてるんでそこはその理事的なことを言ってるのか、今ご説明いただいたその辺全般、全体のその挙手的なことを言ってるのかがちょっと、
1:57:27	これだとわからないですし、ほかにも明瞭な引きずりお礼って幾つかって言って出てきたかと思うので、ちょっとそこは、今のご説明は、はい。反映させ、反映していただくとともに、
1:57:41	他のところにもちょっと水平展開していただければと思いますけどいかがでしょうか。
1:57:48	北陸電カスモリです。反映する件承知いたしました。例えば反映の仕方として我々としてのやり方検討しますけれども、この 133 ページのところに、このメールの引きずりの例というふうに今書いているところに、もう少し丁寧に、がん編がこういうこういうような形状が明瞭な引きずりの例とかそういう、
1:58:04	イメージでいい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:06	まとめと思いますけれども、よろしいでしょうか。
1:58:10	規制庁の野田です。先ほどご説明いただいたことをこの 133 ページ、あと他の類似するページにも反映していただければと思います。
1:58:22	はい、ありがとうございます承知いたしました。
1:58:30	すいません引き続き規制庁のノダですけど、174 ページ。
1:58:35	このまま本質的なところではないんですけど、例えば、上の箱書きの一番最後ですかね、最新ゾーンにはっていう最新ゾーンには広く粘土鉱物が、
1:58:47	網目状に分布しているという記載があるかと思うんですけど、これ文章ではこう書かれている一方で、この網目状がどこかっていることが例えばその下の薄片。
1:59:00	の中だと記載されていないんで、ちょっとここもご説明いただいていいですか。
1:59:08	はい。北陸電力津守です。網目状。
1:59:11	というのがこの 174 ページですとちょっと拡大写真等でわかりづらいんですけども、
1:59:18	例えば 194 ページ 195 ページに、
1:59:22	あ、すみません 190、
1:59:24	6の方がわかりやすいですか。196の右上に、最新ゾーン横断的に拡大している。
1:59:31	写真が付けておまして、こういうところを全体として見まして粘土鉱物が店頭の間を縫うように、
1:59:39	脈状にできていると、こういった状況を網目状というふうに、我々と説明をしてございます。
1:59:46	以上です。
1:59:47	規制庁の野田です。だからここもですねさっきの 174 ページと網目状ですし、今のご説明ですと、脈状になっていて、それが同じことを言うのか言っていないのかっていうのが、
2:00:00	ご説明を聞けばわかるんですけど、この資料を読んだだけだとわからないんで、二つあって一つは、やはりこういうところも、ワードの統一を図るということと、
2:00:12	あとは、174 ページの、
2:00:15	他のおんなじなんですけど、こういう箱書きにあること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:20	書かれていることはなるべくその 174 ページの中で、完結する、網目状 ってのがどこのことを、何のどこのこと言ってるのか、多分これだとわ からなくて、
2:00:29	わからないと思いますんで、そういうちょっと資料の完結性というんで すかねそういったことところにも少し、気をつけていただければと思う んですけどいかがでしょうか。
2:00:43	グループ電力スモリです。はい承知いたしました。1 ページ完結するよ うな形もですとか、運営上がどういうところを指してるだというのがわ かるように整理させていただきたいと思います。以上です。
2:00:55	はい。ありがとうございますよろしくお願いたします。
2:01:01	すみません規制庁の野田です。多分、基本的なコメントはもうないんじ ゃないかと思うんですけど、ちょっと私今回のこのコメント回答を見て いて、気がついた点を幾つかお伝えすると、
2:01:13	御社は例が事実確認をするとすごく丁寧にご説明いただく一方で、そう いったことが少しやっぱり、資料に適切に反映されていなかったり、
2:01:25	あとは正確性とか、あとは整合性とか、適格性とか、そういったところ が少し御社がご説明したいことはわかってるんですけど、そのエビデン スを我々がそういった観点で見たときに、
2:01:39	なかなか確認ができなくて従って今日こういった形で事実確認をさせて いただいたんで、ぜひ、いずれにしても、御社の考え方とか、あとはそ のエビデンスがないと、我々適合性、
2:01:52	基準等の適合性確認できないですし、そういったところは、しっかり御 社と共有していくべきことだと思いますんで、ぜひそういった観点で、
2:02:05	資料の確認をお願いするとともに、今日コメントしたことの反映をお願 いできればと思うんですけど、いかがでしょうか。
2:02:15	北陸電力の藤田です。
2:02:17	今日のヒアリングの中でも幾つか表現の適正化ですとか、過去にちょっ とご説明した資料が、お付けしてなくてどうでしたかというご質問。
2:02:28	ご確認いただいています。その辺やはり、説明する資料中でしっかり完結 するような形で、表現の統一ですとか、そういうのも含めて、改めてチ ェックして、修正していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願 いたします。以上です。
2:02:45	ご説明ありがとうございますぜひ、そういった観点でお願いできれば と思います。以上です。
2:02:59	規制庁のカイダです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:02	こちらの方からの確認は以上となりますけれども、
2:03:08	北陸電力の方から何かございますか。
2:03:15	北陸電力藤田です。こちらの方から特に確認したい事項はございませんので、以上で、
2:03:21	大丈夫です。
2:03:23	はい。規制庁のカイダです。
2:03:25	今日いろいろこちらから申し上げたんですけれども、
2:03:30	資料の方なんですけど、手直しと、これからされて、
2:03:36	見通し的にはいかがですか、どのぐらいかなっていうのももしわかれば今教えていただきたいんですが。
2:03:46	北陸電力藤田です。
2:03:48	今日いろいろご意見いただいた点ですね。
2:03:52	今あるデータの表現ですとかそういったところの、
2:03:55	統一性とかそういうところ中心だと思いますんで、1週間程度で、
2:03:59	修正、
2:04:00	したいなと思うんですけどもいかがでしょうか。
2:04:04	規制庁甲斐です。わかりました資料ができましたら、それをまた、提出いただいて、確認させていただいた上で、
2:04:16	またヒアリングをするか、それはもう、その資料のまんまで、
2:04:21	こちらは内容を理解できるかっていうところ。
2:04:26	資料、まず確認させていただきますので、でき次第、また提出いただくという形でよろしいでしょうか。
2:04:37	北陸電力藤田です。早急に対応して、来週後半にはそのデータを送れるようにさせていただきたいと思います。
2:04:45	電子データの方を先に送ったよろしければそういった形もとりますし、紙資料で南部っていうふうにもたおっしゃっていただければそういうふうに対応させていただきます。
2:04:55	規制庁甲斐です。わかりましたその辺の提出の方法とか、媒体がっていうところはまた
2:05:01	ちょっともう少し先が見えてきたところでロジックにお話したいと思いますので、まずできたらご連絡いただいて、提出できますよっていうところの見通しがわかったら教えていただきたいのでよろしく願います。
2:05:17	資料の修正の進捗を見ながら早めに、見通しをお伝えしたいと思います。よろしく願います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:28	はい。それでは今日の、しかし原子力発電所 2 号炉、敷地の地質構造についてのコメント回答のヒアリングを終了したいと思います。お疲れ様でした。
2:05:41	ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。